

GARMIN[®]

VIEO[™] RV 850 / RV 1050 SERIES

操作マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin ロゴ、Fusion ロゴは、米国またはその他の国における Garmin Ltd.またはその子会社の登録商標です。Apollo™、Connect IQ™、EmpirBus™、Fusion-Link™、Fusion-Link Lite™、Fusion PartyBus™、myTrends™、および Vieo™は、Garmin Ltd.またはその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™と Google Play™は Google Inc.の商標です。Apple®、Apple ロゴ、iPod®、および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。BLUETOOTH®のワードマークとロゴの所有権は Bluetooth SIG, Inc.に帰属し、Garmin 社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。iOverlander™は iOverlander の商標です。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。PlanRV™は、TruckDown Info International, Inc.の商標です。SiriusXM®、SportsFlash™、TuneMix™、TuneStart™、および関連するすべてのマークとロゴは、Sirius XM Radio Inc.の商標です。All rights reserved.Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに.....	1	ルート探索方法を変更する.....	12
ディスプレイの概観.....	1	ナビゲーションを停止する.....	12
ドックの概要.....	2	推奨ルートを利用する.....	12
ディスプレイのドッキング.....	3	遅延、有料道路、およびエリアを回避する.....	12
ディスプレイのドッキング解除.....	3	ルート上の交通遅延を回避する.....	12
メイン画面.....	4	有料道路を回避する.....	12
アプリの起動.....	4	有料ステッカーを回避する.....	13
ショートカットをホーム画面に追加する.....	4	道路の回避機能.....	13
通知の表示.....	5	環境ゾーンを回避する.....	13
ステータスバーアイコン.....	5	カスタム回避.....	13
GPS 信号を捕捉する.....	5	道路を回避する.....	13
タッチスクリーンを使用する.....	5	エリアを回避する.....	13
画面の輝度を調整する.....	6	カスタム回避を無効にする.....	14
ビデオチュートリアル.....	6	カスタム回避を削除する.....	14
車両プロファイル.....	6	位置の検索と保存を行う.....	14
車両プロファイルを追加する.....	6	ジャンル別施設.....	14
乗用車プロファイル.....	6	Tripadvisor®.....	14
車両プロファイルの切り替え.....	7	Tripadvisor ジャンル別施設(POI)を検索する.....	14
車両プロファイルを編集する.....	7	Foursquare®.....	15
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート.....	7	Foursquare のジャンル別施設を検索する.....	15
ドライバーアラートを有効または無効にする.....	8	Foursquare の場所の詳細を表示する.....	15
赤信号カメラとスピードカメラ.....	8	iOverlander™ ジャンル別施設(POI)を検索する.....	15
目的地へのナビゲーション.....	8	キャンプ場の検索.....	15
ルート.....	8	RV 駐車場を検索する.....	15
ナビゲーションを開始する.....	8	RV サービスを検索する.....	15
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	9	検索バーを使用して位置を検索する.....	16
帰宅する.....	9	住所を検索する.....	16
自宅の場所を編集する.....	9	カテゴリーを入力して位置を検索する.....	16
地図上のルート.....	9	カテゴリー内を検索する.....	16
アクティブ車線案内.....	10	場所検索の結果.....	17
方向転換と方向指示を表示する.....	10	検索エリアを変更する.....	18
地図にルート全体を表示する.....	11	カスタム POI(ジャンル別施設).....	18
目的地に到着する.....	11	POI Loader をインストールする.....	18
アクティブルートを変更する.....	11	カスタム POI を検索する.....	18
ルートに場所を追加する.....	11	検索ツール.....	18
ルートを形成する.....	11	交差点を検索する.....	19
迂回路を検索する.....	11	座標を使用して位置を検索する.....	19

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	19	通知のリストを表示する	27
現在地への道順を表示する	19	Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する	28
ショートカットを追加する	20	ハンズフリー通話	28
ショートカットを削除する	20	電話をかける	28
位置を保存する	20	電話を受ける	28
位置を保存する	20	通話履歴を使用する	28
現在地を保存する	20	通話中オプションを使用する	29
保存した位置を編集する	20	電話番号をプリセットとして保存する	29
保存した位置にカテゴリーを割り当てる	21	ハンズフリー通話のオーディオソース変更	29
保存した位置を削除する	21	ワイヤレスヘッドセット	29
地図を使用する	21	Bluetooth 機能を有効または無効にする	29
地図ツール	22	アプリの通知を表示または非表示にする(Andriod™)	29
地図ツールを表示する	22	Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする	30
この先	22	Bluetooth デバイスの取り外し	30
この先の場所を表示する	22	ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	30
[この先]カテゴリーをカスタマイズする	23	ペアリングした電話を削除する	30
この先の都市や出入口サービスの表示	23		
警告およびアラート記号	23		
制約に関する警告	24		
道路状況に関する警告	24		
アラート	25		
トリップ情報	25		
地図からトリップデータを表示する	25		
トリップデータフィールドをカスタマイズする	25		
トリップ情報ページを表示する	25		
軌跡ログを表示する	25		
トリップ情報をリセットする	25		
進行方向の交通事故を表示する	25		
地図上に交通渋滞情報を表示する	25		
交通事故情報を検索する	26		
地図をカスタマイズする	26		
地図レイヤーをカスタマイズする	26		
地図データフィールドを変更する	26		
地図表示方法を変更する	26		
ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能	26		
スマートフォンとペアリングする	26		
スマート通知	27		
通知を受信する	27		
地図の表示中に通知を受信する	27		
通知のリストを表示する	27		
Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する	28		
ハンズフリー通話	28		
電話をかける	28		
電話を受ける	28		
通話履歴を使用する	28		
通話中オプションを使用する	29		
電話番号をプリセットとして保存する	29		
ハンズフリー通話のオーディオソース変更	29		
ワイヤレスヘッドセット	29		
Bluetooth 機能を有効または無効にする	29		
アプリの通知を表示または非表示にする(Andriod™)	29		
Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする	30		
Bluetooth デバイスの取り外し	30		
ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	30		
ペアリングした電話を削除する	30		
音楽再生とステレオ機能	30		
音楽を再生する	30		
ミュージックプレイヤーの概要	31		
ソースを選択する	32		
再生コントロール	32		
メディアプレーヤー接続	33		
USB デバイスの互換性	33		
USB デバイスからメディアを再生する	33		
補助デバイスを接続する	34		
AirPlay を使用した Apple デバイスの接続	34		
AirPlay パスワードを設定する	34		
UPnP 対応デバイスを接続する	34		
オーディオコントロール	34		
ゾーンの音量の調整	34		
接続したすべてのステレオをミュートする	34		
速度に基づく自動音量調整を有効にする	35		
トーンを調整する	35		
ゾーンの大音量設定を無効にする	35		
補助デバイスのゲインを調整する	35		
スピーカーゾーン	35		

ゾーンのオーディオ設定を調整する	35	チャンネルをロックする	43
サブウーファーフィルタを調整する	36	ロックされているすべてのチャンネルをクリアする	43
DSP 設定	36	ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する	43
DSP 設定を構成する	36	SiriusXM のトラブルシューティング	44
Bluetooth デバイスの再生	36	SiriusXM データを消去する	45
対応する Bluetooth デバイスを接続する	37	DAB の再生	45
Bluetooth 範囲の情報	37	チューナーの地域を設定する	45
別の Bluetooth デバイスの選択	37	DAB 放送局のスキャン	45
Bluetooth ソースの設定	37	DAB 放送局の変更	45
USB デバイスの再生	37	DAB 放送局をリストから選択する ...	45
接続されている Android デバイス、USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する	38	DAB 放送局をカテゴリから選択する	45
接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する	38	プリセット	46
ラジオ	38	放送局をプリセットとして保存する	46
チューナーの地域を設定する	38	プリセットをリストから選択する	46
ラジオ局の変更	38	プリセットを削除する	46
SiriusXM 衛星ラジオ	38	Fusion PartyBus™ ネットワーク	46
SiriusXM ソースを有効にする	39	ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスからストリーミングする	47
SiriusXM ラジオ ID を確認する	39	ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスからのストリーミングを停止する ...	48
SiriusXM サブスクリプションの有効化	39	ネットワーク UPnP の再生	48
カテゴリーを選択する	39	オーディオ設定	48
再生モードを使用する	39	スピーカーゾーンの設定	48
アラート	40	ゾーン名を設定する	48
アーティストまたは曲のアラートを追加する	40	ゾーンをリンクする	48
ゲームアラートのチームを追加する	40	ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする	49
アクティブアラートを表示する	40	ゾーンを無効にする	49
アラートを管理する	41	内蔵アンプを無効にする	49
TuneMix™ 機能	41	ソースの設定	49
TuneMix コレクションを開始および停止する	41	ネットワーク設定	49
TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする	41	Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する	49
SportsFlash 機能	42	Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する ...	50
SportsFlash アラートを受信するチームを追加する	42	Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する	50
SportsFlash 優先チームを変更する	42	高度なネットワーク設定	50
TuneStart™ 機能を有効にする	42	ネットワーク設定をリセットする	51
ペアレンタルコントロール	42	追加のステレオコントロールオプション ...	51
ペアレンタルコントロールをロック解除する	42	Garmin ウォッチに接続する	51

車載カメラ	52	地図を有効にする 58 [ルート探索の環境設定]の設定 58 運転者支援の設定 58 トラフィック設定 58
車載カメラを表示する	52	Bluetooth 無線技術を有効にする 58 ワイヤレスネットワークに接続する 59 ディスプレイ設定 59 サウンドと通知の設定 59
カメラの自動表示を有効にする	53	サウンドと通知の音量を調整する 59 位置情報サービスを有効または無効にする 60
カメライメージの反転	53	テキスト言語を設定する 60 日付と時刻の設定 60
車載カメラのマイクを有効にする	53	デバイス設定 60 データと設定をリセットする 60
[トラフィック]	53	
スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	53	
トラフィックを有効にする	53	
地図上に交通渋滞情報を表示する	53	
交通事故情報を検索する	54	
音声コマンド	54	
デバイスに話しかける際のヒント	54	
Garmin 音声案内ナビゲーションの起動	54	
到着時刻の確認	54	
音声を使用してデバイス設定を変更	54	
音声コマンドを無効にする	54	
アプリケーションを使用する	55	
デバイスのマニュアルの表示	55	
トリッププランナー	55	
トリップを計画する	55	
トリップの場所を編集および並べ替える	55	
トリップの目的地の順序を最適化する	55	
トリップの経路にあるアトラクションの発見	55	
トリップのルート探索オプションを変更する	56	
保存されているトリップをナビゲーションする	56	
アクティブルートを編集および保存する	56	
前のルートと目的地を表示する	56	
天気予報を表示する	56	
別の都市周辺の天気を表示する	57	
オンボードシステムの制御と監視	57	
デジタルスイッチコントロールを開く	57	
設定	57	
ナビゲーション設定	57	
地図および車両設定	57	
デバイス情報	61	
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	61	
仕様	61	
デバイスのメンテナンス	62	
Garmin サポートセンター	62	
地図やソフトウェアの更新	62	
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	63	
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新	64	
デバイスのお手入れ	65	
タッチスクリーンのクリーニング	65	
トラブルシューティング	65	
デバイスで衛星信号を受信できない	65	
デバイスがスマートフォンに接続されません	65	
携帯電話が Bluetooth オーディオソースとして表示されない	66	
ネットワークのトラブルシューティング	66	
ネットワークステータスのアイコン	66	
ハンドル制御が反応しない、または正確でない場合	66	
ハンドル制御の校正	67	
付録	67	
データ管理	67	
メモリーカードについて	67	

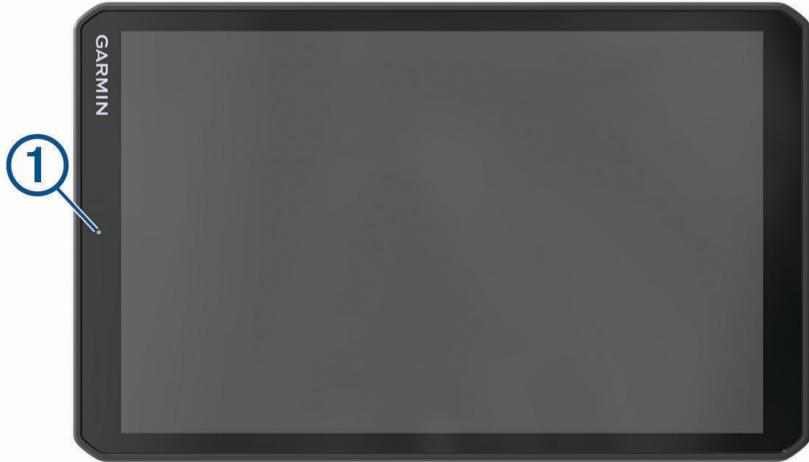
地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	67
メモリーカードのフォーマット	67
追加の地図を購入する	68
アクセサリーを購入する	68

はじめに

⚠️ 警告

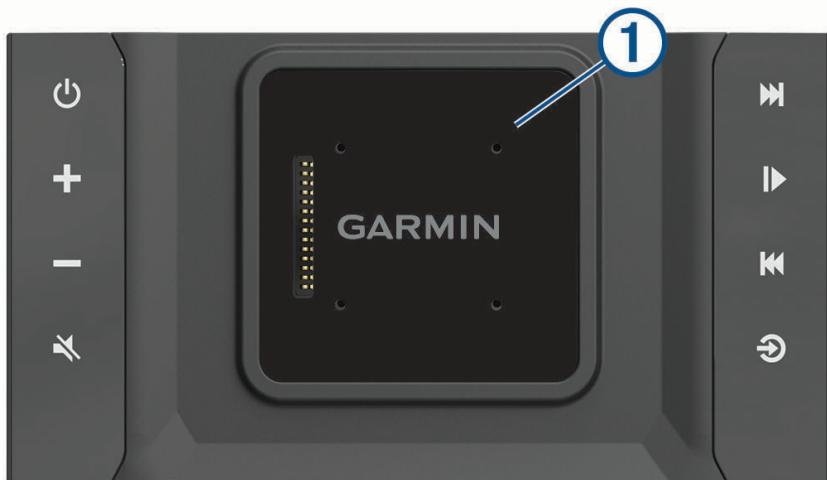
製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

ディスプレイの概観



①	音声認識用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	micro USB 電源およびデータポート
⑤	microSD®メモリカードスロット
⑥	14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑦	スピーカー

ドックの概要



	Vieo ディスプレイ用マグネットドック。ディスプレイを充電し、ディスプレイのユーザーインターフェイスをドッキングモードに設定します。
	電源。長押しして、システムをオンまたはオフにします。
	ボリュームアップ
	ボリュームダウン
	ミュート
	<ul style="list-style-type: none"> 選択すると、前のトラックまたは次のトラックへスキップします(該当するソースを使用しているとき)。 該当するソースを使用している場合は、長押しすると現在のトラックを巻き戻しまたは早送りします。 AM または FM ソース: <ul style="list-style-type: none"> 選択すると、前／次のラジオ局にチューニングされます。 長押しすると、チューニングが速くなります(手動モードのみ)。
	<ul style="list-style-type: none"> Aux1 または Aux2 ソース:接続されているソースのゲインを増減します。 SiriusXM ソース:選択すると、アンサンブルで前／次のチャンネルに変更します。 DAB ソース:選択すると、アンサンブルで前／次の DAB 局に変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> 選択すると、一時停止／再開します。 AM または FM ソース: <ul style="list-style-type: none"> 選択すると、チューニングモードが、自動、手動、プリセット(2つ以上のプリセットが保存されている場合)に切り替わります。 長押しすると、この放送局がプリセットとして保存されます。 SiriusXM ソース:選択すると、プリセットチャンネルが1つ以上ある場合にチューニングモード(自動およびプリセット)を切り替えることができます。 DAB ソース:選択すると、DAB 局をスキャンします。
	選択して、オーディオソースを変更します。

ディスプレイのドッキング

ディスプレイは、インフォテイメントシステム用のタッチスクリーンインターフェイスを備えています。ドッキング中またはドッキング解除中にシステムを制御できます。

1 ディスプレイの下端をドックにセットします。

2 マグネットがディスプレイを正しい位置に引き付けるまで、ディスプレイの上部をドックの方に傾けます。

ドックによってディスプレイが充電されます。ステータスバーの  はバッテリー充電レベルを表しています。

ディスプレイのドッキング解除

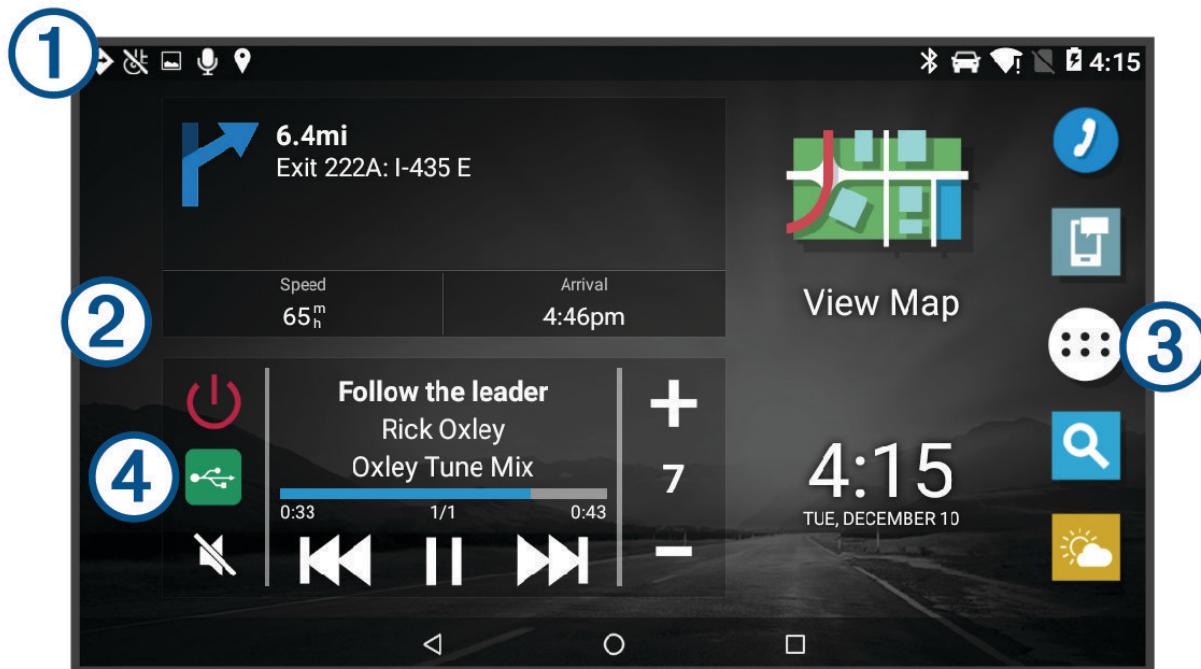
1 ディスプレイの上端を手前に引き、ディスプレイの下端を内側に押す方法で、ディスプレイを手前に傾けます。

この方法では、ディスプレイの底部がドックに収まっているため、ディスプレイの落下を防止できます。

2 マグネットからディスプレイが外れたら、ディスプレイをマウントから慎重に取り外します。

メイン画面

注意: カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



①	下にスワイプすると、通知が表示されます。 下に2回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。
②	長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。
③	選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。
④	メディアコントロールを選択して、ステレオのオン／オフ、放送局の変更、音量の調節、ステレオのミュートを行います (再生コントロール、32 ページ)。

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2つのタブに分類されて表示されます。ナビゲーションタブには、ナビゲーションに役立つGarmin®アプリが含まれています。ツールタブには、通信、文書の表示、その他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する:

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ ☰、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

- 1 を選択します。
- 2 アプリタブを選択すると、その他のアプリが表示されます。
- 3 アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。走行中は運転に集中してください。注意を怠ると、人的・物的損害、けが、または死亡に関わる事故につながるおそれがあります。

- 1 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
 - ・ 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています (位置情報サービスを有効または無効にする, 60 ページ)。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 59 ページ)。
	インターネットに接続されていない Wi-Fi ネットワークに接続されています。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル, 6 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 ステータスバーの表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします ([位置情報サービスを有効または無効にする, 60 ページ](#))。
- 3 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には GPS 捕捉中が表示されます。

タッチスクリーンを使用する

- ・ 画面をタップしてアイテムを選択します。
- ・ 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- ・ 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- ・ 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

ユーザーは通知パネルまたは設定メニューを使用して輝度を調整できます。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ 画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を展開します。
- ・  >  > ディスプレイ > 輝度レベルの順に選択します。

2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

ビデオチュートリアル

ビデオチュートリアルを表示して、デバイスの使用を開始できます。

 >  > ビデオチュートリアルの順に選択します。

車両プロファイル

△ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関する入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロフィールを追加する

お使いのデバイスで使用する各キャンパーの車両プロファイルを追加してください。

1 > > 車両プロファイル > を選択します。

2 車両タイプを選択します：

- ・ キャンパーに完全に接続してモーターホームを追加するには、モーターホームを選択します。
- ・ トレーラーを牽引するモーターホームを追加するには、トレーラー付きモーターホームを選択します。
- ・ 乗用車の後ろに牽引するキャンパーを追加するには、トレーラー付き車両を選択します。

3 必要に応じて、トレーラータイプを選択します：

- ・ 標準連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、キャンピングトレーラーを選択します。
- ・ フィフスホイール連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、フィフスホイールトレーラーを選択します。
注意: このトレーラータイプは利用できない地域もあります。
- ・ 標準連結装置で牽引するボートトレーラーを追加するには、ボートトレーラーを選択します。
- ・ 標準連結装置で牽引するトレーラーを追加するには、トレーラーを選択します。

4 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロファイルを追加した後で、プロファイルを編集して、追加の詳細情報を入力できます（[車両プロファイルを編集する](#)、7 ページ）。

乗用車プロファイル

乗用車プロファイルは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロファイルです。乗用車プロファイルを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロファイルを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロファイルの切り替え

別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

1 次の中からオプションを選択します。

- 画面上部から下にスワイプして、やなどの車両プロフィールアイコンを選択します。
-  > ナビゲーション > 車両プロファイルを選択します。

2 車両プロファイルを選択します。

測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。

3 選択を選択します。

車両プロファイルを編集する

基本的な車両プロファイル情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロファイルに追加できます。

1 > > ナビゲーション > 車両プロファイルを選択します。

2 編集する車両プロファイルを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 車両プロファイル情報を編集するには、を選択し、編集するフィールドを選択します。
- 車両プロファイルの名前を変更するには、 >  > プロファイル名の変更を選択します。
- 車両プロファイルを削除するには、 >  > 削除を選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン／オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度(利用可能な場合)を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度変更: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスがトラフィック情報を受信している必要があります ([トラフィック], 53 ページ)。

トラック走行禁止: トラックの走行が禁止されている道路に接近すると、デバイスは通知音を再生します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

プロパンをオフにする: プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1 > > > ナビゲーション > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注意

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注意: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive™アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ソフトウェア(garmin.com/express)を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード ([ルート探索方法を変更する, 12 ページ](#)) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, [12 ページ](#)) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます ([ナビゲーションを開始する, 8 ページ](#))。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の目的地を追加できます ([ルートに場所を追加する, 11 ページ](#))。

ナビゲーションを開始する

- 1 を選択し、場所を検索します ([位置の検索と保存を行う, 14 ページ](#))。

- 2 位置を選択します。

- 3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**出発!**を選択します。
- 代替ルートを指定するには、を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します ([地図上のルート, 9 ページ](#))。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます ([ルートに場所を追加する, 11 ページ](#))。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大／縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー(■または青いドット)が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 出発！を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

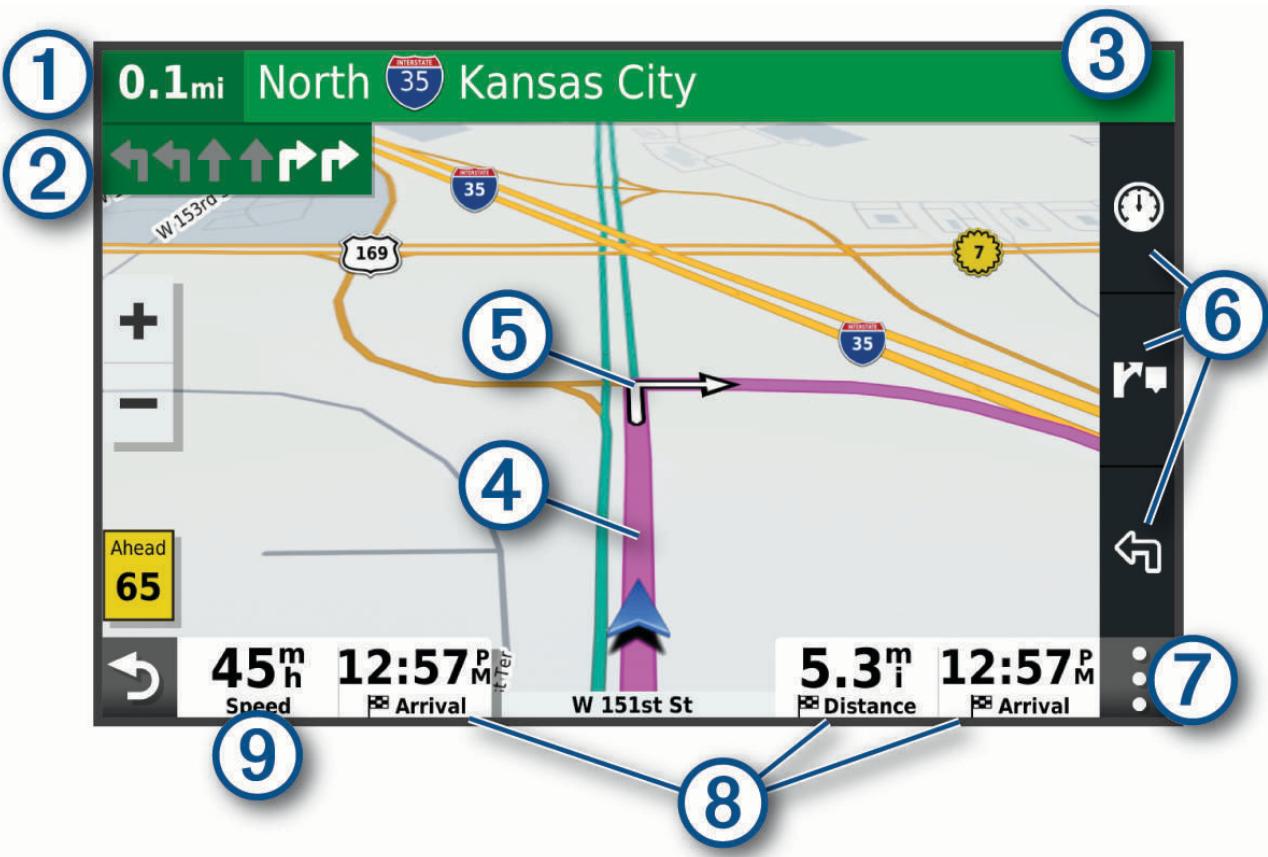
- 1  > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1  >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

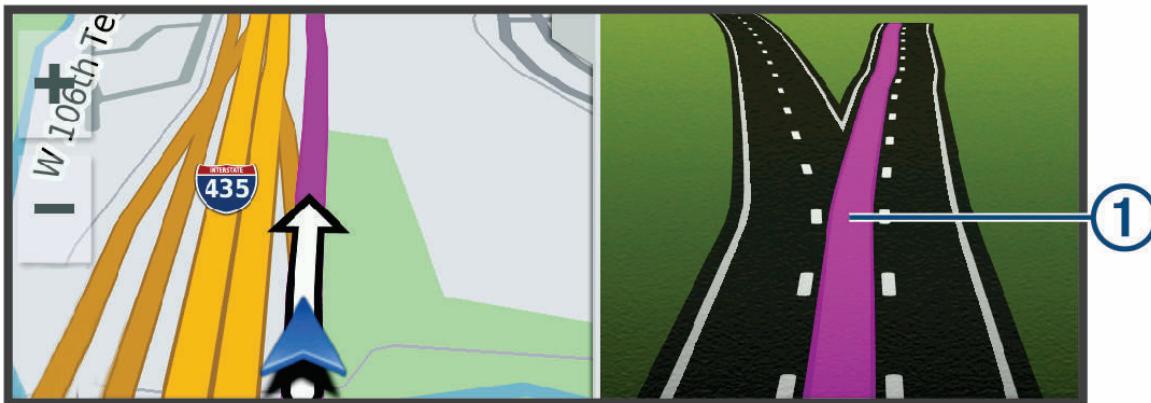
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	次のアクションまでの距離。
②	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび(利用可能な場合)走行すべきレーンを示します。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	地図ツールのショートカット。
⑦	地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
⑧	データフィールド。 ヒント: これらのフィールドをタッチして表示情報を変更できます (地図データフィールドを変更する, 26 ページ)。
⑨	車速。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、⋮ > **方向転換**を選択します。地図ツールで、地図の横に次の 4 つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します(オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

- 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- 2 [♪]を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- ・ は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- ・ 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります (ナビゲーションを開始する, 8 ページ)。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント: 複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます (トリップを計画する, 55 ページ)。

- 1 地図で  > Qを選択します。
- 2 位置を検索します (位置の検索と保存を行う, 14 ページ)。
- 3 位置を選択します。
- 4 出発!を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。
 - ・ ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地追加を選択します。
 - ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、アクティブルートに追加を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります (ナビゲーションを開始する, 8 ページ)。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ルートを形成するを選択します。
ヒント: を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。
- 3 出発!を選択します。
- 4 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - ・ シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、削除を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で  > ルートの編集を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、距離で迂回を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、道路別迂回路を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 計算モードを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 時間優先を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ 直行を選択すると、道路状況にかかるわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - ・ 距離優先を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

- ・ 地図で  >  を選択します。
- ・ 通知バーから下にスワイプして Garmin ナビゲーション通知で  を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります（[ルート探索の環境設定]の設定、58 ページ）。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります（スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する、53 ページ）。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[トラフィック設定]でこのオプションを無効にしている場合（トラフィック設定、58 ページ）、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します（利用可能な場合）。
- 3 出発！を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。

注意：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

 - ・ 有料道路を選択します。
 - ・ 通行料金 > 有料道路を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
 - ・ 有料道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - ・ 有料道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 4 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注意: この機能を利用できない地域もあります。

1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 通行料金 > 料金ステッカーを選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
- 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。
- 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。

4 保存を選択します。

道路の回避機能

1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 回避を選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます ([車両プロファイル](#), 6 ページ)。

1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 環境ゾーンを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
- 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
- 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避道路の追加を選択します。

4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。

5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。

6 完了を選択します。

エリアを回避する

1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避エリアの追加を選択します。

4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。

5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。

6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効を選択します。

カスタム回避を削除する

- 1  >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、を選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、 > 削除の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します ([検索バーを使用して位置を検索する](#), 16 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します ([ジャンル別施設](#), 14 ページ)。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します ([検索ツール](#), 18 ページ)。
- 別の都市または地域の周辺を検索します ([検索エリアを変更する](#), 18 ページ)。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます ([位置を保存する](#), 20 ページ)。
- 最近検索した場所に戻ります ([最近検索した位置を表示する](#), 19 ページ)。

ジャンル別施設

注意

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

Tripadvisor®

注意

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト (レストラン、ホテル、アトラクション) の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1  > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、[結果を並べ替える](#)を選択します (オプション)。

Foursquare®

注意

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設(POI)に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

 > Foursquare®の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。

2  を選択します。

iOverlander™ ジャンル別施設(POI)を検索する

注意

お客様には、キャンプ場や施設に関する適用規則を理解して順守する責任があります。

デバイスには、キャンプ場、修理サービス、宿泊施設など、オーバーランドに役立つ施設を検索できる iOverlander ジャンル別施設が含まれています。

1  > iOverlander を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 位置を選択します。

キャンプ場の検索

 > 全てのキャンプ場を選択します。

RV 駐車場を検索する

注意: この機能を利用できない地域もあります。

利用可能な施設に応じて RV 駐車場を検索できます。

1  > PlanRV Parks の順に選択します。

2 必要な場合は、施設別にフィルタリングを選択し、1つ以上の施設を選択して、保存を選択します。

3 位置を選択します。

RV サービスを検索する

注意: この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

 > PlanRV Services の順に選択します。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 **Q**を選択します。
- 2 検索バーで **検索の入力**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度／経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、**Q**を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注意: デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 **Q**を選択します。
- 2 必要に応じて、**📍**を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 **住所**を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 **Q**を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または **カテゴリー**を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 **Q** > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

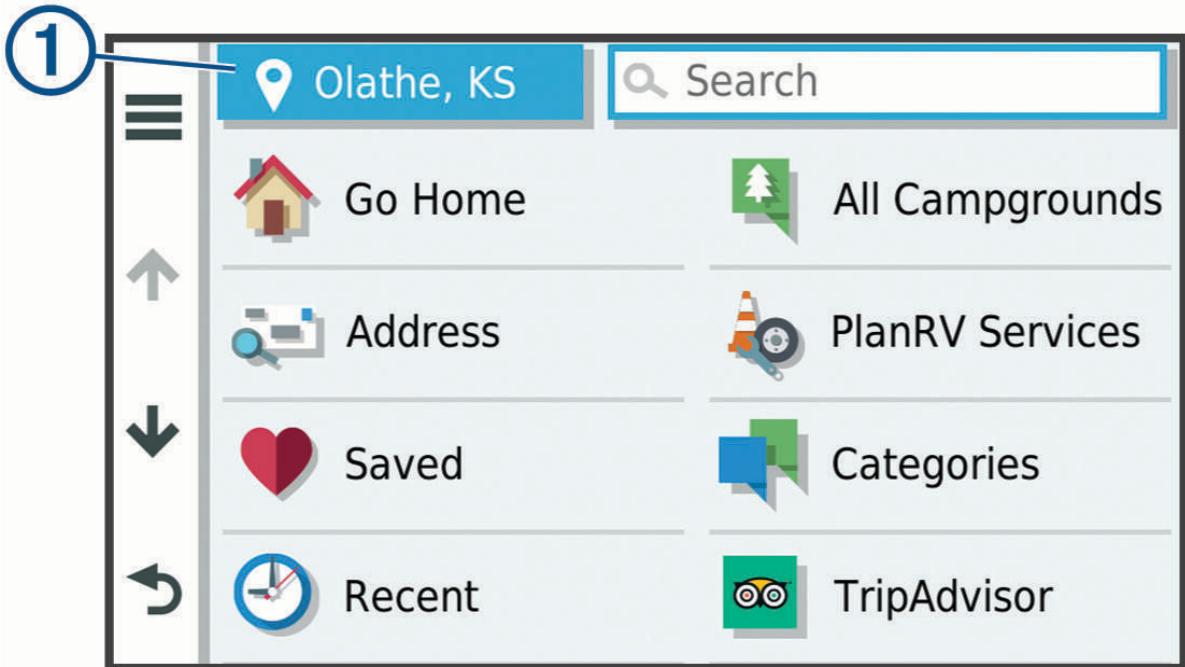


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② i	選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。
③ Y	選択すると、場所への代替ルートが表示されます。
④ 出発 !	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にあるを選択します。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアがの横に表示されます。メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

カスタム POI(ジャンル別施設)

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 www.garmin.com/poiloader を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります([POI Loader をインストールする, 18 ページ](#))。

- 1  > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [その他のカテゴリー]セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1  > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度／経度を指定して、位置を検索できます。

- 1  > 座標を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度／経度を入力します。
- 4 地図上で表示を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認]ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認]ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。
注意: サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発!を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、①を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2  > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索]メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索]メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1  > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1  >  > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 完了を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します ([カテゴリーを入力して位置を検索する](#), 16 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3  > 保存を選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。
- 4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

- 1  > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5  > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、[地図記号の変更](#)を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注意: 位置を 12 件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 を選択します。
- 4 > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注意: 削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 > 保存済みの順に選択します。
- 2 > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 9 ページ](#)) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - ・ 拡大または縮小するには、 または を選択します。
 - ・ ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、 を選択します。
 - ・ 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、 を選択します。
 - ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発! ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 9 ページ](#)) を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます。

ミュート: ナビゲーションプロンプトをミュートします。

次の都市まで: ルートに沿って、この先の都市をリストで表示します。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先、22 ページ](#))。

高度: この先の高度変化を表示します。

photoLive: ルートに沿って photoLive カメラを表示します(利用可能な場合)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する、25 ページ](#))。

トリップデータ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する、25 ページ](#))。

方向転換: ルート上の方向転換地点を表示します。

Fusion Media: 現在の曲またはメディアの情報とコントロールを表示します。

スマートフォン: ハンズフリー通話の電話情報を表示します。

天気: ルートに沿って天気情報を表示します。

地図ツールを表示する

1 地図で \vdots を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

3つのカテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から \vdots > コースポイントを選択します。

走行中、3つのカテゴリーそれぞれに、ルートまたは走行中の道路沿いの「次の場所」が地図ツールに表示されます。停車中は、3つのカテゴリー名が地図ツールに表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先]カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図から: > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 保存を選択します。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で: > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設(ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど)が表示されます。
- 3 場所を選んで、出発!を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

警告およびアラート記号

警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

制約に関する警告

	車高
	重量
	長さ
	幅
	トレーラーの高さ
	トレーラーの重量
	トレーラーの長さ
	トレーラーの幅
	ボートトレーラー禁止
	キャンバー禁止
	トレーラー禁止
	プロパン禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、⋮ > トリップデータを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

1 地図から、⋮ > トリップデータの順に選択します。

2 トリップデータフィールドを選択します。

3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、スピードを選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ(走行した経路の記録)を保持しています。

1 > > > ナビゲーション > 地図／車両 > 地図レイヤーを選択します。

2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

1 地図で、スピードを選択します。

2 > フィールドのリセットの順に選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
- トリップコンピュータの情報をリセットするには、トリップデータのリセットを選択します。
- 最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。
- オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。

進行方向の交通事故を表示する

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([\[トラフィック\]](#), 53 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

1 ナビゲーションの実行中に、⋮ > トラフィックを選択します。

地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。

2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。

2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1  >  >  > ナビゲーション > 地図／車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注意: スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1  >  >  > ナビゲーション > 地図／車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **トラックアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスで、スマート通知、およびライブトラフィックデータや天気情報などのライブ情報を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([\[トラフィック\]](#), 53 ページ)。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), 56 ページ)。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

Vieo デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 26 ページ)。

注意: この接続により、ライブサービスとトラフィック機能が有効になります。スマートフォンをハンズフリー通話に使用したり、Bluetooth メディアソースとして使用したりするには、音楽アプリで個別にペアリングする必要があります ([対応する Bluetooth デバイスを接続する](#), 37 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 Vieo デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m(10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、Vieo デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 26 ページ)。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注意: 地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、確認を選択します。
- 通知を聞くには、確認 > 再生の順に選択します。
デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、確認を選択してからオプションを選択します。
注意: 追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 26 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、X を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、メッセージを再生を選択します。
デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 音声コマンドを使用して通知を聞くには、メッセージを再生と発声します。

注意: このオプションが使用できるのは、選択した言語で音声コマンド機能がサポートされていて、地図ツールに  が表示されている場合だけです。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1  > ▲ > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、▶ を選択します。

デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する

Garmin Drive アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に Vioeo デバイスに送信できます。

1 Garmin Drive アプリから目的地検索を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。

入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。

3 検索結果の候補から選択します。

アプリで、地図上に場所が表示されます。

4 ナビゲーションを開始するには、出発を選択します。

Vioeo デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

ハンズフリー通話

注意: ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をかける

1 ☎を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 電話をかけるには、拨打を選択してから電話番号を入力し、📞を選択します。
- 最近電話をかけた、または最近着信があった電話番号に電話するには、📞を選択し、電話番号を選択します。
- 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、👤を選択し、次に連絡先を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

1 ☎ > 📞の順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。

3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント: 通話中オプションページを閉じた場合は、メインメニューから  を選択してもう一度開くことができます。

- 会議通話を設定するには、 を選択します。
- 音声の出力先を電話に切り替えるには、 を選択します。

ヒント: この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ダイヤルパッドを使用するには、 を選択します。

ヒント: この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

- マイクをミュートするには、 を選択します。
- 電話を切るには、 を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

-  >  の順に選択します。
- プリセット番号(たとえば、プリセット 1)を選択し、OK を選択します。
- 連絡先を選択します。

ハンズフリー通話のオーディオソース変更

-  を選択します。
-  > Bluetoothインターフェイスの順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 通話音声をディスプレイデバイスからのみ聞く場合は、PND を選択します。
 - 通話音声をステレオシステムで聞くには、ステレオを選択します。

ワイヤレスヘッドセット

デバイスは、音声ナビゲーションプロンプトを Bluetooth 対応ワイヤレスヘッドセットに送信できます。

Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングされたスマートフォンのハンズフリー通話および Garmin Drive 機能を有効または無効にすることができます。

-  >  >  > Bluetooth の順に選択します。
- 電話名の横の  を選択します。
- 使用目的セクションで、オプションを選択します。
 - Garmin Drive アプリへの接続を有効にするには、Garmin Drive を選択します。
 - ハンズフリー通話機能を有効にするには、ハンズフリーを選択します。
- OK を選択します。

アプリの通知を表示または非表示にする(Android™)

Garmin Drive アプリを使用して、Vieo デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
-  > スマート通知を選択します。
スマートフォンアプリのリストが表示されます。
- アプリの横にある切り替えスイッチを選択して、アプリの通知を有効または無効にします。

Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリーを表示または非表示にして、Vieo デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 > > スマート通知 > を選択します。
- 2 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。

Bluetooth デバイスは、今後も Vieo デバイスに自動的に接続できます。

- 1 > > > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に Vieo デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が Vieo デバイスから削除されます。

- 1 > > > Bluetooth を選択します。
- 2 Bluetooth デバイス名の横の > 破棄を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 > > > Bluetooth を選択します。
- 2 デバイス名の横の > 破棄を選択します。

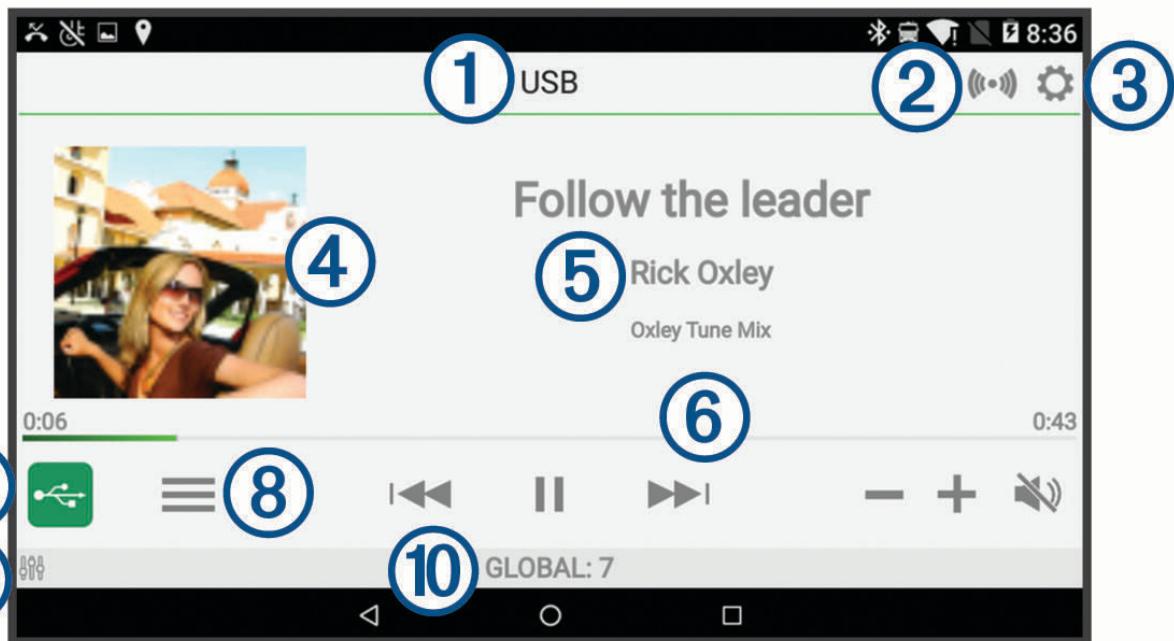
音楽再生とステレオ機能

音楽を再生する

- 1 > > の順に選択します。
- 2 リストからソースを選択します。
- 3 必要に応じて、曲または放送局を選択します。

ミュージックプレイヤーの概要

ミュージック画面に表示される情報は、選択したソースに応じて異なります。画面上の再生コントロールは、選択したソースに応じて異なる場合があります（[再生コントロール](#)、32 ページ）。この例では、USB ポートに接続された USB デバイスからのトラックのステレオ再生を示しています。



(1)	ソース
(2)	ネットワークステータス（ ネットワークステータスのアイコン 、66 ページ）
(3)	選択すると、ステレオ設定メニューが開きます。
(4)	アルバムアート（対応ソースから得られる場合）
(5)	トラックの詳細（利用可能な場合）
(6)	経過時間、トラックの再生時間、プレイリスト内の総トラック数のうち現在のトラック番号（該当する場合）
(7)	ソースを選択する場合に選択します（ ソースを選択する 、32 ページ）。
(8)	選択すると、現在のソースのメニューが開きます。 すべてのソースに利用できるわけではありません。
(9)	選択して、音量を調節するか、スピーカーゾーンを変更します。
(10)	スピーカーゾーンと音量レベル

ソースを選択する

1 ソースアイコンを選択します。

ソースアイコンはステレオ画面の左下隅にあり、現在選択しているソースが表示されます。

2 ソースを選択します。

再生コントロール

画面上の再生コントロールは、選択したソースによって異なる場合があります。

	選択すると、メディアの再生を一時停止します。
再生	<ul style="list-style-type: none">選択すると、メディアを再生するか、メディアの再生を再開します。DAB ソース：押すと DAB 局をスキップします。
	<ul style="list-style-type: none">選択すると前のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。長押しするとトラックが巻き戻されます（該当するソースを使用している場合）。AM、FM、または SiriusXM（ライブモード）ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると、前回の局やプリセットにチューニングされます。長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。SiriusXM（再生モード）ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると前のトラックにスキップします。押し続けると、現在のトラックが巻き戻されます。DAB ソース：選択すると、アンサンブルで前の DAB 局に戻ります。現在のアンサンブルの始めに到達したら、前のアンサンブルで聴ける最後の局に自動的に変わります。
	<ul style="list-style-type: none">選択すると、次のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。押し続けると、トラックが早送りされます（該当するソースを使用している場合）。AM、FM、または SiriusXM（ライブモード）ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると、次の局またはプリセットにチューニングされます。長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。SiriusXM（再生モード）ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると、次のトラックにスキップします（該当する場合）。押し続けると、現在のトラックが早送りされます（該当する場合）。DAB ソース：選択すると、アンサンブルで次の DAB 局に進みます。現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。
	選択すると、チューニングモード（自動または手動）とプリセットが切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。
	押し続けると、再生モードとライブモードが切り替わります（ 再生モードを使用する 、39 ページ）。 再生モード：押すと、チャネルが一時停止／再生されます。 ライブモード：選択すると、チューニングモード（手動またはカテゴリー）とプリセットが切り替わります。
	現在のゾーンの音量を上げる場合に選択します。
	現在のゾーンの音量を下げる場合に選択します。
感度	Aux ソースでスライダを左右に動かすと、ゲインが増減します。

メディアプレーヤー接続

△ 注意

メディアプレーヤーは、使用しないときは必ずステレオから切り離し、車内に置いたままにしないでください。そうすれば、盗難の危険や極端な気温による損傷が減ります。

車を運転している間は気をとられないよう、メディアプレーヤーを取り外したりステレオを使用したりしないでください。使用に関連するすべての法律を確認し、順守してください。

ステレオは、スマートフォンやその他のモバイル機器など、さまざまなメディアプレーヤーに対応しています。対応メディアプレーヤーは、Bluetooth ワイヤレス接続を使用するか、USB ポートの USB 接続を使用できます。ステレオは、同じネットワークに接続された NAS(Network Attached Storage)デバイスなど、UPnP(Universal Plug and Play)デバイスからメディアを再生できます。ステレオは、AirPlay®機能を使用して同じネットワークに接続された対応 Apple デバイスからメディアを再生できます。

USB デバイスの互換性

USB フラッシュドライブを使用するか、メディアプレーヤーに付属している USB ケーブルを使用してメディアプレーヤーまたはモバイルデバイスを USB ポートに接続できます。

ステレオは、MTP モードをサポートしている Android デバイスに対応しています。

ステレオは、メディアプレーヤーや他の USB 大容量記憶装置(USB フラッシュドライブを含む)に対応しています。USB ドライブ上の音楽は以下の条件を満たす必要があります。

- ・ 音楽ファイルの形式は MP3 ファイル、AAC(.m4a) ファイル、または FLAC ファイルでなければなりません。
- ・ ポータブルハードディスクを接続する場合は、外部の電源に接続する必要があります。このステレオの USB ポートは、ポータブルハードディスクに電力を供給できません。
- ・ USB 大容量記憶装置は、次のいずれかのシステムを使用してフォーマットする必要があります。
 - Microsoft®: NTFS¹、VFAT、FAT²、MSDOS
 - Apple:HFS、HFSPLUS
 - Linux:EXT2、EXT3、EX4

USB デバイスからメディアを再生する

接続された USB フラッシュドライブ、スマートフォン、または互換性のあるポータブルメディアデバイスからメディアを再生できます。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ 車内でメディア USB ポートを見つけます。
詳細については、車両のマニュアルを参照してください。
- ・ Vieu ドックの背面にある 2.1 A USB ポートを見つけます。
詳細については、Vieu RV 850 / RV 1050 Series のインストールガイドを参照してください。

2 USB デバイスを USB ポートに接続します。

3  >  を選択します。

4 ソースアイコンを選択します ([ミュージックプレイヤーの概要](#), 31 ページ)。

5 次の中からオプションを選択します。

- ・ Apple デバイスのメディアを再生するには、iPod を選択します。
- ・ Android 搭載のスマートフォンまたはデバイスのメディアを再生するには、MTP を選択します。
- ・ 別のポータブルメディアプレーヤーまたは USB フラッシュドライブのメディアを再生するには、USB を選択します。

¹ NTFS ファイルシステムを使用するソフトウェアの更新はサポートされていません。

² FAT には、ほとんどのタイプの FAT ファイルシステムが含まれています(exFAT を除く)。

補助デバイスを接続する

さまざまな補助デバイスをステレオに接続できます。これらのデバイスには RCA コネクタ、ライン出力、またはヘッドフォン出力ジャックがあります。

- 1 必要に応じて、RCA - 3.5mm アダプターケーブルを補助デバイスに接続します。
- 2 AUX 機器をステレオの背面にある Aux 1 端子に接続します。
- 3 Aux1 ソースを選択します。

AirPlay を使用した Apple デバイスの接続

- 1 Apple デバイスの設定メニューから、互換性のある Fusion[®]ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。

注意: 一部の Apple デバイスは、有線のイーサネット接続を使用してネットワークに接続できます（該当する場合）。 詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

- 2 Apple デバイスで、ステレオにストリーミングする音楽アプリを開きます。
- 3 音楽アプリまたはプログラムから、 または を選択し、ステレオの名前を選択します。
- 4 必要に応じて、アプリで音楽を再生します。

ステレオが自動的に AirPlay ソースに変更され、Apple デバイスからオーディオが再生されます。

注意: 一部の AirPlay デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

AirPlay パスワードを設定する

AirPlay 機能を使用してステレオに接続するときに、ユーザーが入力する必要のあるパスワードを設定できます。

- 1 > > > AirPlay のパスワードの順に選択します。
- 2 パスワードを入力します。

注意: AirPlay パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

AirPlay 機能を使用してこのステレオに接続する場合、ユーザーは Apple デバイスでパスワードを入力する必要があります。

UPnP 対応デバイスを接続する

NAS デバイスなどの UPnP 対応デバイスからメディアを再生するため、ステレオをネットワークに接続する必要があります。

- 1 UPnP 対応デバイスをステレオと同じネットワークに接続します。必要に応じて、UPnP 対応デバイスとルーターの取扱説明書を参照してください。
- 2 ステレオで UPnP ソースを選択します（ソースを選択する、32 ページ）。

UPnP デバイスのメディアは、USB フラッシュドライブと同じ方法で参照したり再生できます（接続されている Android デバイス、USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する、38 ページ）。

オーディオコントロール

ゾーンの音量の調整

- 1 > > を選択します。
- 2 ゾーンを選択します。

ヒント: すべてのゾーンを同時に操作するには、グローバルを選択します。

- 3 スライダを上下にドラッグします。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたはネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます（Fusion PartyBus™ ネットワーク、46 ページ）。

いずれかのソースで、 を選択します。

ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。

速度に基づく自動音量調整を有効にする

- 1 > > > > ゾーン > 速度と音量の比率 > 有効の順に選択します。
- 2 最高/最低速度を選択し、音量調整の最大および最小速度を入力します。
- 3 音量を上げるを選択し、各ゾーンのボリューム増加率を入力します。
- 4 カスタムユニットを選択し、速度の測定単位を選択します。

トーンを調整する

- 1 > > > ゾーンの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 トーンを選択します。
- 4 スライダーバーを使用して、各トーンのレベルを調整します。

ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は周波数応答を小音量で維持し、知覚されるラウドネスを大音量で増大します。この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

- 1 > > > ゾーンの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 大きいを選択して、チェックボックスをオフにします。

補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは1dB単位で調整できます。

- 1 補助ソースを選択します。
- 2 スライダを左右に動かすと、ゲインが増減します。

注意: ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

スピーカーゾーン

1つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファーレベル、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前を設定し、その他のゾーン固有の設定(スピーカーゾーン設定(タイトルのみ))を設定できます([スピーカーゾーンの設定](#), 48 ページ)。

ゾーンのオーディオ設定を調整する

- 1 > > > ゾーンの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 その他を選択します。
- 4 オプションを選択します(複数可)。

注意: 一部のゾーンで、使用できないオプションがある場合があります。

- ・ このゾーンの最大出力音量を制限するには、**ボリューム制限**を選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンのサブウーファーレベルを設定するには、**サブレベル**を選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、**バランス**を選択してバランスを調整します。

サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択した周波数を超えるオーディオ信号はサブウーファーに送られません。

注意: DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。DSP コントローラによって計算された最適なカットオフ周波数の DSP 設定を表示できますが、調整することはできません。

- 1 > > > ゾーンの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 **SUB FREQ** を選択します。
- 4 周波数を選択します。

DSP 設定

このステレオはデジタル信号処理(DSP)機能を備えています。あらかじめ構成された DSP 設定を Fusion スピーカーおよびアンプに選択して、オーディオ再生をそれぞれの設置場所で最適化することができます。

すべての DSP 設定は Fusion-Link™リモートコントロールアプリ ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 52 ページ](#))。

DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成する前に、Fusion-Link リモートコントロールアプリをダウンロードして対応する Apple または Android デバイスにインストールする必要があります ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 52 ページ](#))。

DSP 設定を構成して、設置したスピーカーやアンプ、および環境で各ゾーンのサウンドを最適化できます。

- 1 Apple または Android デバイスの設定メニューから、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続するか、ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。
- 2 Fusion-Link リモートコントロールアプリを対応の Apple または Android デバイスで開きます。
- 3 必要に応じて、構成するステレオを選択します。
- 4 > **MUSIC SETTINGS** の順に選択します。
- 5 ゾーンを選択します。
- 6 **DSP SETTINGS** を選択します。
- 7 DSP 設定の構成が必要であれば、ゾーンに接続している Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて行います。
- 8 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。
- 9 DSP 設定の構成がすべてのゾーンで完了したら、オプションを選択します。
 - Apple デバイスで、 > **Zone** > **SETTINGS** > **SEND DSP SETTINGS** の順に選択します。
 - Android デバイスで、 > **Zone** > **SEND DSP SETTINGS** の順に選択します。

Bluetooth デバイスの再生

ステレオは最大で 8 台の Bluetooth メディアデバイスとペアリングできます。

すべての Bluetooth デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。メディアの参照をサポートしていない Bluetooth デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報(曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間、ジャケットなど)が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

対応する Bluetooth デバイスを接続する

対応する Bluetooth デバイスからメディアを、Bluetooth ワイヤレス接続を使用して再生できます。

音楽再生は Bluetooth デバイスのメディアアプリを使用したり、Fusion-Link リモートコントロールアプリを使用したりして制御できます ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ](#), 52 ページ)。

- 1 BT ソースを選択します。
- 2 > CONNECTIONS > 検出可能な順に選択して、ステレオを対応 Bluetooth デバイスが認識できるようにします。
- 3 Bluetooth をご使用の対応 Bluetooth デバイスで有効にします。
- 4 対応する Bluetooth デバイスをステレオから 10 m(33 ft.)内に置きます。
- 5 対応する Bluetooth デバイスで、Bluetooth デバイスを検索します。
- 6 対応する Bluetooth デバイスで、検出されたデバイスのリストからステレオを選択します。
- 7 対応する Bluetooth デバイスで、画面の指示に従って検出されたステレオとペアリングし、接続します。
ペアリング中に、対応 Bluetooth デバイスからステレオのコードを確認するよう求められる場合があります。ステレオにコードの表示はありませんが、このメッセージを Bluetooth デバイスで確認すると正しく接続されます。
- 8 対応する Bluetooth デバイスがすぐにステレオに接続されない場合は、手順 1~7 を繰り返します。

検出可能設定は、2 分後に自動的に無効になります。

注意: 一部の Bluetooth デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

Bluetooth 範囲の情報

ステレオおよび Bluetooth ワイヤレスデバイスの通信距離は 10 m(33 ft.)です。最適なパフォーマンスが得られるように、Bluetooth ワイヤレスデバイスからステレオまでの障害のない見通し線が確保されている必要があります。

別の Bluetooth デバイスの選択

複数の Bluetooth デバイスがステレオとペアリングされているときは、異なるデバイスを必要に応じて選択できます。ステレオは最大で 8 台の Bluetooth デバイスとペアリングできます。

- 1 BT ソースを選択した状態で、 > CONNECTIONS > ペアリングされたデバイスの順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイスを選択します。

Bluetooth ソースの設定

BT ソースを選択した状態で、 > CONNECTIONS を選択します。

検出可能: ステレオは Bluetooth デバイスが認識可能になります。Bluetooth デバイスをステレオにペアリングした後でオーディオが中断されるのを防止するため、この設定は 2 分後に自動的にオフになります。

デバイスを削除: Bluetooth デバイスをステレオから取り外します。この Bluetooth デバイスの音声を再び聴くには、デバイスを再度ペアリングする必要があります。

USB デバイスの再生

さまざまな USB メディアプレーヤー、USB フラッシュドライブ、スマートフォンをステレオに接続できます。USB ソースへのアクセス方法は、接続されているメディアプレーヤーまたはスマートフォンのタイプによって異なります。

メディアプレーヤー	ソースの選定
Android デバイス	MTP
USB フラッシュドライブ	USB
MP3 メディアプレーヤー(大容量記憶装置として)	USB 注意: MP3 メディアプレーヤーが USB 接続時に大容量記憶をサポートしていない場合は、補助デバイスとしてステレオに接続しなければなりません (補助デバイスを接続する , 34 ページ)。

注意: 曲の情報(曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間など)が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

接続されている Android デバイス、USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する

- 1 対応する Android デバイス、USB フラッシュドライブ、またはメディアプレーヤーをステレオに接続します。
- 2 ステレオで適切なソースを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 必要に応じて、デバイスまたは USB ドライブの名前を選択してファイル構造を表示します。
- 5 曲を選択して音楽再生を開始します。

ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップができます。

接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する

- 1 USB または Bluetooth を使用して(利用可能な場合)、互換性のある Apple スマートフォンまたはメディアプレーヤーをステレオに接続します。
- 2 ステレオで適切なソースを選択します。
- 3 接続したデバイスで音楽アプリケーションを起動し、再生を開始します。

音楽アプリケーションまたはステレオコントロールを使用すると、トラックを選択、再生、一時停止、スキップができます。

ラジオ

AM または FM ラジオを聞くには、適切な AM/FM アンテナをステレオに正しく接続し、放送局の受信範囲内にいる必要があります。AM/FM アンテナの接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

SiriusXM®ラジオを聞くには、適切な機器とサブスクリプションが必要です ([SiriusXM 衛星ラジオ](#), 38 ページ)。

SiriusXM Connect Vehicle Tuner の接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

DAB 放送局を聞くには、適切な機器が必要です。DAB アダプタとアンテナの接続手順については、アダプタとアンテナに付属しているインストールガイドを参照してください。

チューナーの地域を設定する

AM/FM 局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

対応する SiriusXM チューナーおよびアンテナに接続しており、サブスクリプションがある場合(米国のみ)、SiriusXM 局を正しく受信するには、自分の現在の地域を選択する必要があります。

注意: SiriusXM は、一部の地域ではご利用になれません。

対応する DAB モジュールおよびアンテナ(付属していません)に接続している場合、DAB 局を正しく受信するには、自分がいる地域を選択する必要があります。

注意: DAB 局は、一部の地域ではご利用になれません。

1  >  >  > チューナーの地域の順に選択します。

2 所在している地域を選択します。

ラジオ局の変更

- 1 適切なソース(FM)を選択します。
- 2   を繰り返し選択してチューニングモードを移動し、オプションを選択します。
 - ・ 次に使用可能な局をスキャンして停止するには、**自動**を選択します。
 - ・ 手動で局を選択するには、**手動**を選択します。
 - ・ 保存した局のプリセットを選択するには、**プリセット**を選択します。
- 3   を選択して、局にチューニングします。

手動チューニングモードでは、  を押し続けると、局をすばやく移動できます。

SiriusXM 衛星ラジオ

SiriusXM は、すばらしいリスニングコンテンツをすべて 1 つの場所で楽しめるラジオ局です。140 以上のチャンネルをお楽しみください。CM のない音楽の他、スポーツ、ニュース、トーク、コメディー、エンターテイメントなどのチャンネルがあります。衛星ラジオの世界へようこそ。SiriusXM 車両チューナーとサブスクリプションが必要です。詳細については、[www.siriusxm.com](#) をご覧ください。

SiriusXM ソースを有効にする

SiriusXM 衛星ラジオを聞くには、SiriusXM ソースを有効にする必要があります。

注意: SiriusXM 機能を利用できない地域もあります。

 >  >  > チューナーの地域 > USA の順に選択します。

SiriusXM ラジオ ID を確認する

SiriusXM サブスクリプションを有効にするには、SiriusXM 接続チューナーのラジオ ID が必要です。SiriusXM ラジオ ID は、SiriusXM 接続チューナーの背面またはそのパッケージにあるか、ステレオをチャンネル 0 にチューニングすることで確認できます。

SiriusXM ソースを選択した状態で、 > チャンネル > 全チャンネル > 000 RADIO ID を選択します。

SiriusXM ラジオ ID には I、O、S、F の文字は含まれません。

SiriusXM サブスクリプションの有効化

1 選択した SiriusXM ソースで、チャンネル 1 にチューニングします。

プレビューチャンネルを聴取できる必要があります。聴取できない場合は、SiriusXM 接続チューナーやアンテナの設置および接続を確認し、もう一度試してください。

2 チャンネル 0 にチューニングして、ラジオ ID を確認します。

3 米国で購読するには、SiriusXM リスナーサポートに電話((866)635-2349)で問い合わせるか、www.siriusxm.com/activatenow にアクセスします。カナダで購読するには、SiriusXM に電話((877)438-9677)で問い合わせるか、www.siriusxm.ca/activatexm にアクセスします。

4 ラジオ ID を入力します。

有効化処理には通常 10~15 分かかりますが、最大で 1 時間かかることがあります。SiriusXM 接続チューナーで有効化メッセージを受信するには、チューナーの電源をオンにし、SiriusXM 信号を受信する必要があります。

5 1 時間以内にサービスが有効化されない場合は、<http://care.siriusxm.com/refresh> にアクセスするか、SiriusXM リスナーサポートに電話(1-866-635-2349)でお問い合わせください。

カテゴリーを選択する

カテゴリー調整方法を使用しているときに表示されるチャンネルのカテゴリーを制御できます。

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > カテゴリーを選択します。

2 カテゴリーを選択します。

再生モードを使用する

再生モードを使用して SiriusXM ブロードキャストの再生を制御できます。

注意: 保存されているプリセットチャンネルを再生しているとき再生モードが自動的に有効になります。

1 必要に応じて  を選択して再生モードを有効にします。

 が  に変わり、進捗バーが表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

・ 再生を再開または一時停止するには、 または  を選択します。

・ 再生モードを終了するには、 を選択します。

・  を選択するとトラックが前に戻り、 を選択するとトラックが先に進みます。

注意: 進捗バーの最後まで早送りまたはスキップすると、ステレオは再生モードを自動的に終了し、ライブ放送を再生します。

アラート

⚠ 警告

運転中は警告通知を読んだり選択したりしないでください。走行中は運転に集中してください。注意を怠ると、物的損害、けが、または死亡に関わる事故につながるおそれがあります。

音楽アプリを使用すると、曲のアラートやゲームのアラートなどのアラートが画面の上部に表示されます。アラートは Fusion Media マップツールの表示中にも表示されます。地図ツール上で表示された場合、SiriusXM アラートなど、一部のアラートは、アラートの簡単な説明のみが表示されることがあります。音楽アプリの場合は、アラートの詳細をすべて表示できます。

アーティストまたは曲のアラートを追加する

アーティストや曲のアラートを設定して、特定の曲や特定のアーティストの曲がどこかの音楽チャンネルで流れ始めたらすぐにそのチャンネルにチューニングできるようにします。

- 1 特定の曲や特定のアーティストの曲が流れている間に、≡ > アラートを追加 > アーティスト／曲の保存の順に選択します。
- 2 曲またはアーティストを選択します。

ゲームアラートのチームを追加する

スポーツチームのアラートを設定して、保存されたチームが出場するゲームがいずれかのスポーツチャンネルで始まるとき、そのチャンネルにすばやくチューニングできるようになります。

注意: ゲームアラートは SportsFlash™アラートとは異なります。ゲームアラートは、ゲームの開始を知らせてくれます。それに対して SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。

- 1 ≡ > アラートを追加 > ゲームからチームへのアラートを選択します。
- 2 スポーツリーグを選択します。
- 3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、ゲームアラートを追加します。
- 4 ゲームアラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。

チームをライブゲームから追加する

ゲームを聞いている間に、プレイ中のチームをゲームアラートチームのリストにすばやく追加できます。

- 1 チャンネルでゲームを聞いている間に、≡ > アラートを追加 > チームの保存を選択します。
現在のゲームでプレイしているチームのリストが表示されます。
- 2 ゲームアラートチームのリストに追加するチームを選択します。

アクティブアラートを表示する

アクティブなアーティスト、曲、ゲームアラートを確認できます。

- 1 ≡ > アクティブアラートを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。

アラートを管理する

自分で保存したアラートを管理して、受け取りたいアラートを選択できます。保存したアラートのうち必要でないものを削除できます。

- 1  > SiriusXM の設定 > アラート管理を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 保存したアラートを曲だけ、アーティストだけ、またはアーティストと曲の両方で有効にするには、**タイプごとに有効化**を選択して、タイプを選択します。
 - ・ 保存したアラートを特定のアーティストだけで有効にするには、**アーティストを有効にする**を選択して、アーティストを選択します。
 - ・ 保存したアラートを特定の曲だけで有効にするには、**曲を有効にする**を選択して、曲を選択します。
 - ・ 保存したゲームアラートを特定のチームで有効にするには、**チームの有効化**を選択してチームを選択します。
 - ・ 保存した曲、アーティスト、またはチームのすべてのアラートを削除するには、**タイプによる削除**を選択して、タイプを選択します。
 - ・ 保存した特定のアーティストのアラートを削除するには、**アーティストの削除**を選択して、アーティストを選択します。
 - ・ 保存した特定の曲のアラートを削除するには、**曲の削除**を選択して、曲を選択します。
 - ・ 保存した特定のチームのゲームアラートを削除するには、**チームの削除**を選択して、チームを選択します。

TuneMix™機能

注意: TuneMix 機能は SXV300 チューナー(別売)が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

TuneMix コレクションを開始および停止する

TuneMix コレクションの再生を開始する前に、コレクションを作成する必要があります ([TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする, 41 ページ](#))。

TuneMix の機能を使用すると、お気に入りの音楽チャンネルをミックスしてカスタムメイドのリスニング体験をつくることができます。

- 1  > TUNEMIX を選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を開始します。
- 3 TuneMix コレクションの再生を停止するには、 > チャンネルを選択してチャンネルを選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を停止して、選択したチャンネルの再生を開始します。

TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする

独自の TuneMix コレクションをステレオで 10 個まで作成できます。

注意: TuneMix コレクションには、お気に入りの SiriusXM 音楽チャンネルが 2 つ以上含まれている必要があります。

- 1  > SiriusXM の設定 > Tunemix のセットアップを選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
- 3 チャンネルを選択してチェックボックスをオンにし、TuneMix コレクションに追加します。
- 4 TuneMix コレクションのカスタマイズが完了したら、を選択します。
- 5 カスタマイズする TuneMix コレクションごとに手順 2~4 を繰り返します。

SportsFlash 機能

SportsFlash 機能は、ライブゲーム中にお気に入りチームのキープレイを知らせます。エキサイティングなプレイが出ると、SportsFlash アラートが表示され、その放送にチューニングしてプレイを聞くことができます。SportsFlash アラートが終了したら、前のチャンネルに戻るかそのゲームにチューニングしたままにするかを選べます。

SportsFlash アラートを受信するには、アラートに含めたいスポーツリーグの実況スポーツチャンネルがサブスクリプションパッケージに含まれている必要があります。

追加した SportsFlash アラートを有効、無効、または削除できます ([アラートを管理する, 41 ページ](#))。

注意: SportsFlash はゲームアラートとは異なります。SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。それに対して、ゲームアラートはゲームの開始を知らせてくれます。

注意: SportsFlash 機能は SXV300 チューナー(別売)が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

SportsFlash アラートを受信するチームを追加する

- 1  > SPORTSFLASH > チームの選択を選択します。
- 2 スポーツリーグを選択します。
- 3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、SportsFlash アラートを追加します。
- 4 SportsFlash アラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。

SportsFlash 優先チームを変更する

SportsFlash アラートを設定した複数のチームが同時にプレイをしている場合は、好きなチームから先に SportsFlash アラートを聞けるようチーム優先度を調整できます。

- 1  > SPORTSFLASH > 優先チームを選択します。
選択した SportsFlash チームのリストが優先度順に表示されます。
- 2 チームを選択して、リスト内の 1 つ上の優先レベルに移動します。
- 3 優先度リストが希望どおりの順位になるまで、順番を変えたいチームごとに前の手順を繰り返します。

TuneStart™機能を有効にする

TuneStart 機能を有効にしてプリセットチャンネルにチューニングすると、現在の曲を、ライブ放送で現在の位置から開始するのではなく、曲の最初から開始します。

注意: TuneStart 機能は、プリセットチャンネルにチューニングしているときだけ使用できます。TuneStart 機能は SXV300 チューナー(別売)が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

必要に応じて  > SiriusXM の設定 > TUNESTART を選択します。

TuneStart 機能により曲が最初から開始すると、進捗バーが表示されて、再生モードと同じコントロールを使用してトラックを操作できます ([再生モードを使用する, 39 ページ](#))。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロール機能を使用すると、成人向けコンテンツを含むチャンネルなど、特定の SiriusXM チャンネルへのアクセスを制限できます。ペアレンタルコントロール機能が有効になっている場合、ロックされたチャンネルにチューニングするには、パスコードを入力する必要があります。4 衔のパスコードを変更することもできます。

ペアレンタルコントロールをロック解除する

ペアレンタルコントロールのロックを解除して、ロックされたチャンネルにアクセスできます。

- 1 SiriusXM ソースを選択して  > ペアレンタルを選択します。
- 2 ロック解除チェックボックスをオンにします。
- 3 パスコードを入力します。

ヒント: 初期設定のパスコードは 0000 です。

ペアレンタルコントロールは、車両をオフにするか、再度ロックするまでロック解除されたままになります。

チャンネルをロックする

1 SiriusXM ソースを選択して  > ペアレンタルを選択します。

2 ロック解除チェックボックスをオンにします。

3 パスコードを入力します。

ヒント: 初期設定のパスコードは 0000 です。

4 ロック/ロック解除を選択します。

利用可能なチャンネルのリストが表示されます。

5 ロックする 1 つまたは複数のチャンネルを選択して、を選択します。

6 ロック解除チェックボックスをオフにして、ペアレンタルコントロールをロックします。

ペアレンタルコントロールがロックされている間は、ロックされたチャンネルにアクセスできません。ロックされたチャンネルにチューニングするには、ペアレンタルコントロールのロックを解除する必要があります。

ロックされているすべてのチャンネルをクリアする

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > ペアレンタル > ロック解除を選択します。

2 パスコードを入力します。

3  > ペアレンタル > ロック状態を全解除を選択します。

ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > ペアレンタル > ロック解除を選択します。

2 パスコードを入力します。

3  > ペアレンタル > PIN の変更を選択します。

4 画面に表示される手順に従います。

SiriusXM のトラブルシューティング

注意報	説明	解決策
アンテナの確認	ラジオが SiriusXM アンテナの不具合を検出しました。アンテナケーブルが外れているか損傷している可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが SiriusXM Connect Vehicle Tuner に接続していることを確認します。 アンテナケーブルに損傷やねじれがないか点検します。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。
チュナーのチェック	ステレオが SiriusXM Connect Vehicle Tuner と通信できません。チュナーは接続していないか損傷している可能性があります。	SiriusXM Connect Vehicle Tuner のケーブルがステレオにしっかりと接続されていることを確認します。
電波信号なし	SiriusXM Connect Vehicle Tuner が SiriusXM 衛星信号を受信できません。	<ul style="list-style-type: none"> SiriusXM アンテナが屋外にあり、上空が開けていることを確認します。 SiriusXM アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認します。 SiriusXM アンテナの上または横にある障害物を取り除きます。 ケーブルアンテナに損傷やねじれがないか調べます。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。 アンテナ取り付けの詳細については、SiriusXM Connect Vehicle Tuner の設置ガイドを参照してください。
サブスクリプションが更新されました	ラジオが SiriusXM サブスクリプションデータの変更を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> 任意のボタンを選択してメッセージをクリアします。 サブスクリプションに関するご質問は、www.shop.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルは利用できません	ご希望のチャンネルは有効な SiriusXM チャンネルでないか、お聞きになっていたチャンネルはご利用になれなくなりました。このメッセージは、新しい SiriusXM Connect Vehicle Tuner を初めて接続したときに短時間表示されることがあります。	SiriusXM チャンネルのラインナップの詳細は、 www.shop.siriusxm.com をご覧ください。
チャンネルを契約していません	ご希望のチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれていないか、お聞きになっていたチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれなくなりました。	サブスクリプションパッケージの詳細やチャンネルのサブスクリプションについて、 www.shop.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルがロックされている	ご希望のチャンネルはペアレンタルコントロール機能によってロックされています。	チャンネルのロックを解除するには、マニュアルのペアレンタルコントロールのセクションを参照してください。

SiriusXM データを消去する

入力したすべての SiriusXM ユーザー情報(お気に入りのチームやアラートなど)をクリアできます。

設定メニューの工場出荷時の設定にリセットオプションを使用して、ステレオをリセットします。

注意: 工場出荷時の設定に戻すと、ステレオ内のすべてのデータ(AM および FM のプリセット、ゾーン設定など)がリセットされ、さらにすべての SiriusXM ユーザー情報が消去されます。

DAB の再生

注意: この機能を利用できない製品モデルもあります。

DAB 放送は、一部の地域ではご利用になれません。ステレオを対応地域に設定していない場合、DAB ソースはご利用になれません。

チューナーの地域を設定する

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

1 > > > > チューナーの地域の順に選択します。

2 所在している地域を選択します。

DAB 放送局のスキャン

注意: DAB 信号は一部の国でのみ放送されているため、チューナーの地域を DAB 信号が放送されている場所に設定する必要があります。

1 DAB ソースを選択します。

2 ▶▷を選択して、使用可能な DAB 放送局をスキャンします。

スキャンが完了すると、検出された最初のアンサンブルの 1 つ目の放送局の再生が開始されます。

注意: 最初のスキャンの完了後に、再度▶▷を選択して DAB 放送局をスキャンできます。再スキャンが完了すると、再スキャンの開始時に聴いていたアンサンブルの最初の放送局の再生が開始されます。

DAB 放送局の変更

1 DAB ソースを選択します。

2 必要に応じて、▶▷を選択して、現地の DAB 放送局をスキャンします。

3 ▶◀または▶▶を選択して放送局を変更します。

現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。

DAB 放送局をリストから選択する

1 DAB ソースを選択します。

2 必要に応じて、▶▷を選択して、現地の DAB 放送局をスキャンします。

3 > 参照 > 放送局を選択します。

4 リストから放送局を選択します。

DAB 放送局をカテゴリから選択する

1 DAB ソースを選択します。

2 必要に応じて、▶▷を選択して、現地の DAB 放送局をスキャンします。

3 > 参照 > カテゴリーを選択します。

4 リストからカテゴリを選択します。

5 リストから放送局を選択します。

プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。

オプションの SiriusXM チューナとアンテナが接続されている場合は、お気に入りの SiriusXM チャンネルを保存できます。

オプションの DAB アンテナが接続されている場合は、お気に入りの DAB 放送局を保存できます。

放送局をプリセットとして保存する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。
- 2 プリセットタブを選択します。

- 3 を選択します。

ヒント:  を長押しすると、選択した AM/FM 局または DAB チャンネルをプリセットとしてすばやく保存できます。

プリセットをリストから選択する

- 1 該当するソースを選択した状態で、プリセットタブを選択します。
- 2 リストからプリセットを選択します。

プリセットを削除する

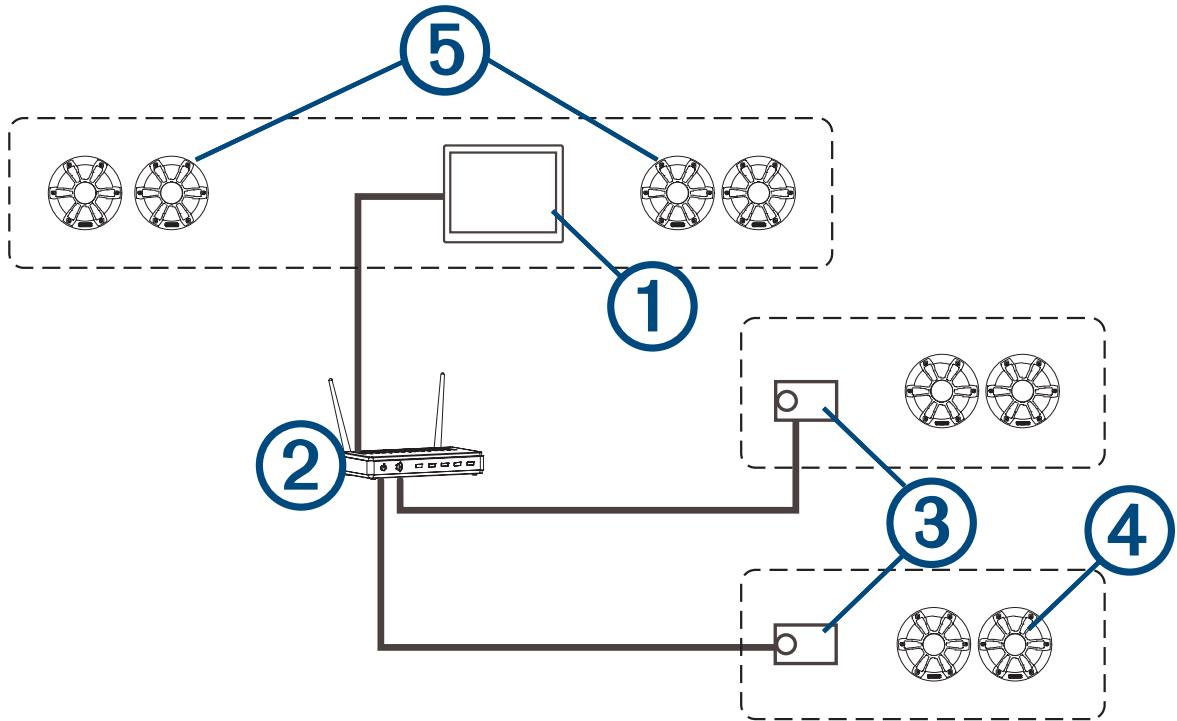
- 1 該当するソースを選択した状態で、プリセットタブを選択します。
- 2 を選択します。
- 3 削除する各プリセットを選択します。
- 4 プリセットの削除が完了したら、を選択します。

Fusion PartyBus™ ネットワーク

Fusion PartyBus ネットワーク機能を使用すると、有線接続または無線接続を組み合わせて、ネットワーク上の互換性のある複数のステレオおよびゾーンステレオを接続できます。

Vieo RV 850 ステレオなどの Fusion PartyBus ステレオは、ネットワークに接続されている他の Fusion PartyBus デバイスにソースをストリーミングできます。接続された Fusion PartyBus デバイスで Fusion PartyBus ステレオでのメディア再生を制御することもできます。Apollo™ SRX400 ゾーンステレオなどの Fusion PartyBus ゾーンステレオは、Fusion PartyBus ステレオからストリーミングできますが、ソースをネットワーク上の他の Fusion PartyBus デバイスにストリーミングすることはできません。

ネットワーク上の最大 8 台の Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスで接続できます。



上の画像では、1台の Vizio RV 850 ステレオ ① がワイヤレスルーター ② および 2台の Apollo SRX400 ゾーンステレオ ③ に接続されています。2台の Fusion PartyBus ステレオゾーンステレオは、Fusion PartyBus ステレオからソースをストリーミングできます。

Fusion PartyBus ゾーンステレオは、スピーカーゾーンとは異なります。このデバイスは独立したステレオであり、接続済みソースからメディアを再生したり、ネットワーク上の Fusion PartyBus ステレオからストリーミングしたりできます。Apollo SRX400 ゾーンステレオなどの Fusion PartyBus ゾーンステレオを 1つのスピーカーゾーン ④ に接続できます。Vizio RV 850 ステレオなどの Fusion PartyBus ステレオは、複数のスピーカーゾーン ⑤ に接続して、そのステレオでより大きなエリアをカバーできます。Fusion PartyBus デバイスは別のステレオのスピーカーの音量を制御できません。ステレオに直接接続されているスピーカーまたはスピーカーゾーンのみの音量を調整できます。

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスからストリーミングする

ネットワーク上のデバイスからストリーミングする前に、Fusion PartyBus デバイスをインストールガイドに従って設定および構成する必要があります。

注意: Fusion PartyBus 機能を使用して、Apple AirPlay ソースをネットワーク上の他のステレオにストリーミングすることはできません。

1 ソースアイコンを選択します。

ソースアイコンはステレオ画面の左下にあり、現在再生中のソースが表示されます。

2 PARTYBUS を選択します。

ヒント: ソースアイコンを長押しすると、使用可能な Fusion PartyBus デバイスが表示されます。

デバイスには、ネットワーク上の利用可能な Fusion PartyBus デバイスのリストが表示されます。

3 ストリーミングするデバイスを選択します。

ステレオは、接続されている Fusion PartyBus デバイスと同じソースのストリーミングを開始し、デバイスの画面の周囲に緑の境界線が表示されます。すべてのメディア再生機能が両方のデバイスに影響します。

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスからのストリーミングを停止する

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスからストリーミングしている場合は、ステレオでローカルソースを再生する前に、デバイスとの接続を切断する必要があります。

- 1 ソースアイコンを選択します。

ソースアイコンはステレオ画面の左下にあり、現在再生中のソースが表示されます。

- 2 PARTYBUS > PartyBus を終了を選択します。

ヒント: ソースアイコンを長押しすると、Fusion PartyBus ネットワークからすぐに出ることができます。

ネットワーク UPnP の再生

このステレオは、コンピュータやメディアサーバーなどのネットワークに接続している UPnP(Universal Plug and Play) デバイスからコンテンツを再生できます。UPnP デバイスはステレオと同じネットワークに、有線または無線接続を使用して接続する必要があります。また、ネットワーク経由でメディアを共有するようデバイスを構成する必要があります。詳細については、UPnP デバイスのマニュアルを参照してください。

UPnP デバイスをネットワークに接続し、メディアを共有するように設定すると、UPnP ソースがネットワーク上の各ステレオのソース選択画面に表示されます ([ソースを選択する, 32 ページ](#))。

オーディオ設定

> > > の順に選択します。

注意: オプションボタンが塗りつぶされているとき、オプションはオンです。オプションボタンが空のとき、オプションはオフです。

ゾーン: スピーカーゾーンを構成できます ([スピーカーゾーンの設定, 48 ページ](#))。

チューナーの地域: さまざまなラジオのソースで使用する地域を設定します。

デバイス名: このステレオの名前を設定します。

検索: Fusion Alpha Search Technology(FAST)を有効にします。トラックを文字または数字ですばやく検索できるようになります。FAST メニューを有効にするために必要な、最小トラック数を設定できます。FAST 検索は、この最小数を超えるトラックがデバイスに含まれている場合に使用できます。

AirPlay のパスワード: AirPlay 機能を使用してステレオに接続するときユーザーが入力するパスワードを設定します。

ソース: ステレオドックで使用できるオーディオソースのオプションを設定します。ソースの有効化または無効化、ソースの名前変更、またはデバイスが Fusion PartyBus ネットワーク経由でストリーミングできるソースの設定を行うことができます ([ソースの設定, 49 ページ](#))。

ネットワーク: ネットワーク設定を構成できます ([ネットワーク設定, 49 ページ](#))。

ディスプレイ: 音楽アプリに、昼または夜の色を表示するよう設定します。自動を選択して、時刻に基づいてデバイスが自動的に昼または夜の色を設定するようにできます。

バージョン情報: ステレオのソフトウェアバージョン情報を表示します。

スピーカーゾーンの設定

ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

1 > > > > ゾーンの順に選択します。

2 ゾーンを選択します。

3 ゾーン名を選択します。

4 オンスクリーンキーボードを使用して名前を入力し、を選択します。

ゾーンをリンクする

ゾーン 1 と 2 をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

> > > > ゾーン > ゾーン 2 > ゾーン 1 へリンクの順に選択します。

ゾーン 1 と 2 がリンクされていると、 が音量画面のゾーン 1 とゾーン 2 に表示されます。

注意: ゾーン 1 と 2 をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする

デフォルトでは、ゾーン 3 と 4 の音量はステレオによって制御されます。接続されたアンプを使用しても、これらのゾーンの音量を制御できます。

1 > > > > ゾーンの順に選択します。

2 ゾーン 3 またはゾーン 4 を選択します。

3 音量調節を選択して、チェックボックスをオフにします。

このゾーンからのオーディオ信号は、固定ラインレベル出力としてアンプに送信されます。

ゾーンを無効にする

未使用的ゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。ゾーン 2、3、および 4 のみを無効にできます。

1 > > > > ゾーンの順に選択します。

2 ゾーンを選択します。

3 有効なゾーンを選択して、チェックボックスをオフにします。

内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効にすると消費電力を削減できます。

1 > > > > ゾーンの順に選択します。

2 内部アンプオンを選択して、チェックボックスをオフにします。

ソースの設定

> > > > ソースの順に選択し、設定するソースの名前を選択します。

注意: このメニューには、システム全体のソースの設定が含まれています。ほとんどのソースには、ソース固有の設定もあります。ソース固有の設定の詳細については、このマニュアルの、各ソースのセクションを参照してください。

ステレオのすべてのソースで、すべてのオプションを使用できるわけではありません。

ソースが有効: このステレオのソースを有効または無効にします。ソース選択の画面に表示されないように、ステレオで使用しないソースを無効にできます。

PartyBus 有効: ソースがネットワーク上の別のステレオに接続されている場合は、ソースの共有を有効または無効にします ([Fusion PartyBus™ ネットワーク, 46 ページ](#))。AM など、一部のソースの共有は無効にしてください。Fusion PartyBus ネットワーク経由のストリーミングによりわずかなオーディオ遅延が生じて、状況によっては望ましくない場合です。

ソース名: このステレオで表示される、ソースの名前を変更します。これは、ネットワーク上の他のステレオにどのようにソースが表示されるかにも影響します。

ネットワーク設定

ヒント: 任意の画面でネットワークステータスアイコンを選択すると、[ネットワーク設定] メニューを開くことができます。

Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する

2 台の Fusion PartyBus デバイスを直接接続したり、ネットワークスイッチやワイヤレスアクセスポイントを使用して 3 台以上接続したのに、ルーターを設置しなかった場合は、1 台の Fusion PartyBus ステレオのみを DHCP サーバーとして構成する必要があります。

1 > > > ネットワーク > 詳細 > イーサネット IP > 静的 IP > 保存の順に選択します。

2 > > > ネットワーク > 詳細 > DHCP サーバー > DHCP 有効 > 保存の順に選択します。

DHCP サーバーの IP アドレス範囲を構成できます ([DHCP 設定, 51 ページ](#))。

Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する

追加の Fusion PartyBus デバイスまたはスマートフォンをワイヤレスで Fusion PartyBus デバイスに接続する前に、1 台以上のデバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する必要があります。ネットワークにワイヤレスルーターまたは他のワイヤレスアクセスポイントを設定した場合、これは必要ありません。

- 1  >  >  > ネットワーク > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。
- 2 SSID を選択して、ワイヤレスアクセスポイントのデフォルトの SSID(名前)を変更します(オプション)。
- 3 AP セキュリティ:%1 を選択して、アクセスポイントのセキュリティタイプを変更します(オプション)。
注意: デフォルトの WPA2 パーソナル AP セキュリティ:%1 設定を使用することを強く推奨します。これは最も一般的に使用されている安全なワイヤレスセキュリティプロトコルです。
- 4 パスワードを選択して、アクセスポイントのデフォルトのパスワードを変更します(オプション)。
- 5 必要に応じて、国名:%1 を選択して、お住いの地域を選択します。
- 6 チャンネル:%1 を選択して、アクセスポイントのチャンネル範囲を選択します(オプション)。
- 7 保存を選択します。

ワイヤレスアクセスポイントの設定はいつでも調整できます ([ワイヤレスアクセスポイントの設定](#), 50 ページ)。

Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する

- 1  >  >  > ネットワーク > Wi-Fi クライアント > SSID の順に選択します。
範囲内にあるワイヤレスアクセスポイントのリストが表示されます。
- 2 Fusion PartyBus ワイヤレスアクセスポイントを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ パスワードを入力するには、パスワードを選択して、パスワードを入力し、を選択します。
 - ・ WPS を使用してワイヤレスアクセスポイントに接続する場合は、アクセスポイントで WPS が有効になっていることを確認し、WPS を選択します。**注意:** WPS を選択した後、アクセスポイントに接続するまで最大 2 分かかる場合があります。

- 4 保存を選択します。

高度なネットワーク設定

DHCP 範囲の定義や静的 IP アドレスの設定など、Fusion PartyBus デバイスでは高度なネットワークタスクを実行できます。

ワイヤレスアクセスポイントの設定

 >  >  > ネットワーク > 詳細 > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。

注意: 設定を変更するには、デバイスをワイヤレスアクセスポイントに設定する必要があります ([Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する](#), 50 ページ)。

SSID: ネットワークの SSID(名前)を設定します。

AP セキュリティ:%1: アクセスポイントで使用されるワイヤレスセキュリティプロトコルのタイプを設定します。

注意: WPA2 パーソナルを使用して、AP セキュリティ:%1 を設定することを強く推奨します。これは最も一般的に使われている安全なワイヤレスセキュリティプロトコルです。

パスワード: アクセスポイントのパスワードを設定します。AP セキュリティ:%1 設定がなしに設定されている場合は使用できません。

国名:%1: ステレオが配置されている地域を設定します。地域によっては、ワイヤレススペクトル上の異なるチャンネルを使用する場合があるため、ローカルのワイヤレスデバイスと最適に対応するように設定してください。

チャンネル:%1: お住まいの地域で使用可能なスペクトルの高範囲、低範囲、または中範囲にあるチャンネルのグループを使用するようアクセスポイントを設定します。ブロードキャストアクセスポイントの数が少ない範囲にチャネルを設定すると、パフォーマンスが向上する場合があります。

DHCP サーバー: デバイスをワイヤレスアクセスポイントやネットワーク上の DHCP サーバーとして機能するように設定します ([DHCP 設定](#), 51 ページ)。

WPS: Wi-Fi Protected Setup(WPS)接続を開始します。WPS ボタンまたは設定のあるデバイスは、WPS 接続が有効になると、このステレオのアクセスポイントに接続できます。

注意: WPS を選択した後、アクセスポイントに接続するまで最大 2 分かかる場合があります。

DHCP 設定

 >  >  > ネットワーク > 詳細 > DHCP サーバーの順に選択します。

DHCP 有効: デバイスをネットワーク上の DHCP サーバーとして設定します。

開始 IP: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最初の IP アドレスを設定します。

終了 IP:%1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最後の IP アドレスを設定します。

静的 IP アドレスを設定する

ステレオが DHCP サーバーとして構成されると、自動的に IP アドレス 192.168.0.1 が割り当てられます。この IP アドレスは変更できます。

ステレオがネットワーク上のクライアントであり、DHCP サーバーがステレオに IP アドレスを自動的に割り当てるないようにする場合は、静的 IP アドレスを設定します。

注意: ネットワーク上のすべてのデバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上の IP アドレスと同じ静的 IP アドレスを選択すると、デバイスは正常に動作しません。

1  >  >  > ネットワーク > 詳細 > Wi-Fi IP > 静的 IP の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- IP アドレスを設定するには、**IP:%1** を選択して IP アドレスを入力します。
- サブネットマスクを設定するには、**マスク:%1** を選択し、サブネットマスクを入力します。
注意: サブネットマスクは、正しく機能するため、ネットワーク上の他のすべてのデバイスと一致しなければなりません。一般的なサブネットマスクは 255.255.255.0 です。
- デフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定するには、**ゲートウェイ**を選択してゲートウェイ IP アドレスを入力します。
注意: デフォルトゲートウェイは通常、ネットワーク上の DHCP サーバーの IP アドレスとして設定します。

3 保存を選択します。

ネットワーク設定をリセットする

このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットできます。

 >  >  > ネットワーク > リセット > はいの順に選択します。

追加のステレオコントロールオプション

Garmin ウォッチに接続する

ウォッチの詳細については、www.garmin.com/manuals でウォッチのマニュアルを参照してください。

1 ウォッチのマニュアルの指示に従って、Fusion-Link Lite™ストアからウォッチに Connect IQ™アプリをインストールします。

2 ステレオで BT ソースを選択します。

3  > CONNECTIONS > 検出可能の順に選択します。

ステレオは 2 分間検出可能になります。

4 ウォッチをステレオから 3 m(10 ft.)内に置きます。

注意: ペアリング中は、他の ANT®デバイスから 10 m(33 ft)以上離します。

5 ウォッチで Fusion-Link Lite アプリを開きます。

アプリをウォッチで初めて開くと、ウォッチは自動的にステレオとペアリングされて接続します。別のステレオとペアリングしたい場合は、Fusion-Link Lite アプリで **Settings > Pair new** の順に選択します。

6 ウォッチの Fusion-Link Lite アプリを使用して、オーディオ再生を操作します。

デバイスはペアリングされると、電源がオンになったとき範囲内にあれば、自動的に接続し、アプリはウォッチで開きます。

Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ

対応する Apple デバイスまたは Android デバイスで Fusion-Link リモコンアプリを使用して、ステレオ音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、ステレオ設定の調整を行うことができます。

アプリは、モバイルデバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth または Wi-Fi 技術を使用して、対応デバイスをステレオに接続する必要があります。

対応する Apple デバイスまたは Android デバイスの Fusion-Link リモコンアプリの詳細については、Apple App StoreSM または Google PlayTM ストアにアクセスしてください。

ステレオ設定をリセットする

ステレオ機能と設定はすべて工場出荷時の初期設定にリセットできます。

 >  >  > 更新 > 工場出荷時の設定にリセットの順に選択します。

車載カメラ

△ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイを注視すると、障害物や危険物を見逃し、怪我や死亡事故につながるおそれがあります。

ステレオでは、バックアップカメラやサイドミラーカメラなど、接続された車載カメラの映像とオーディオをライブで視聴できます。

新車に車載カメラとステレオが搭載されていた場合、カメラは既にメーカーによって接続され、構成されています。

独自のバックアップカメラキットを取り付ける場合、カメラのビデオ出力をステレオ背面のビデオ入力に接続し、カメラのマイク出力を Aux2 入力に接続する必要があります(該当する場合)。カメラを自動的に表示するには、カメラをカメラトリガーウェイに接続する必要があります。ステレオの接続の詳細については、Vieo シリーズのインストールガイドを参照してください。

車載カメラを表示する

車載カメラを表示するには、互換性のあるカメラをステレオに接続する必要があります。

カメラを自動的に表示するには、カメラの自動表示オプションを有効にする必要があります ([カメラの自動表示を有効にする, 53 ページ](#))。

1 オプションを選択し、車載カメラを表示します。

- ・ バックアップカメラを自動的に表示するには、車両のギヤをバックに入れます。
- ・ サイドミラーカメラを自動的に表示するには、車両の方向指示灯を点滅させます。

注意: 一部の車両では、一般的にこのオプションはメーカーオプションとしてのみ入手可能で、お使いの車両で利用できない場合もあります。

- ・ バックアップカメラを手動で表示するには、 > カメラを選択します。

画面に車載カメラの映像が表示されます。

2 利用可能な場合は、を選択して、カメラマイクのオーディオをミュートまたはミュート解除できます。

ヒント: 車載カメラのマイクが接続されていて、このオプションが利用できない場合は、マイクが有効になっていることを確認します ([車載カメラのマイクを有効にする, 53 ページ](#))。

3 次のどちらかの方法で通常の動作に戻します。

- ・ 車両のギヤをバックから戻します。
- ・ 方向指示灯を消します。
- ・ ◀を選択します。

カメラの自動表示を有効にする

互換性がある車載カメラの場合、自動表示機能を有効または無効にできます。

- 1 > カメラ > > ディスプレイ自動オンの順に選択します。
- 2 カメラを選択します。

カメライメージの反転

状況によっては、または後退操作を行う際に、バックミラーのように、カメライメージを反転することができます。

- 1 > カメラ > > ビデオを左右反転の順に選択します。
- 2 カメラを選択します。

車載カメラのマイクを有効にする

車載カメラのマイクを有効にするには、ステレオの Aux2 入力に接続する必要があります。

接続された車載カメラにマイクが搭載されている場合、カメラの画面でマイクを有効または無効にできます。

- > カメラ > > マイク取り付け済みの順に選択します。
- マイクが有効になると、カメラの画面に が表示されます。

[トラフィック]

注意

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます ([トラフィック設定](#), 58 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する](#), 53 ページ)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリに接続します ([スマートフォンとペアリングする](#), 26 ページ)。
- 2 Vioe デバイスで、 > > > ナビゲーション > トラフィックの順に選択し、トラフィックチェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。トラフィックデータが無効であるとき、デバイスはトラフィックデータを受信しませんが、trafficTrends™ 機能が有効化されていれば、渋滞している可能性のあるエリアを回避できます。

- 1 > > > ナビゲーション > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

音声コマンド

注意: すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注意: 周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド]メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

デバイスに話しかける際のヒント

- ・ デバイスで指定されるはつきりした音声で発音します。
- ・ OK, Garmin で各リクエストを開始します。
- ・ 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- ・ デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- ・ OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive?と話しかけます。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量または輝度を 0~10 の値に設定できます。

- ・ OK, Garmin, increase the volume.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 0.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 9.
- ・ OK, Garmin, decrease the brightness.
- ・ OK, Garmin, set the brightness to 5.

音声コマンドを無効にする

音声コマンドを無効にすることができます。これにより、会話中に、音声コマンドの誤動作を防ぐことができます。

- 1  > ナビゲーション > 音声コマンドの順に選択します。
- 2  > 無効の順に選択します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > 操作マニュアルの順に選択します。

マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます ([テキスト言語を設定する](#), 60 ページ)。

- 2 [Q]を選択してマニュアルを検索します(オプション)。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイビングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1 回のトリップに多数の目的地を含めることができます、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地同じにすることができます。

- 1  > ルート > 新しいトリップの順に選択します。
- 2 開始ポイント選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 追加を選択して、その他の場所を追加します(オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ > 保存の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1  > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > 順序の最適化を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集中に、 > アトラクションの提案を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1  > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します（オプション）。
- 4  を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ トリップにシェイピングポイントを追加するには、ルートを形成するを選択し、画面に表示される指示に従います（[ルートを形成する, 11 ページ](#)）。
 - ・ トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します（[ルート探索方法を変更する, 12 ページ](#)）。

保存されているトリップをナビゲーションする

保存したトリップのナビゲーションを開始するには、デバイスのアクティブな車両プロファイルがトリップの選択された車両プロファイルと一致している必要があります（[トリップのルート探索オプションを変更する, 56 ページ](#)）。一致しない場合、トリップを開始する前に車両プロファイルを変更するように求めるメッセージがデバイスに表示されます（[車両プロファイルの切り替え, 7 ページ](#)）。

- 1  > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 出発！を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、開始を選択します。

デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1  > ルート > 保存されたトリップ > マイアクティブルートを選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、保存を選択します。ナビゲーションは後で再開できます（オプション）。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります（[ルート探索の環境設定]の設定, 58 ページ）。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

 > トリップの履歴を選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気予報データを受信できます（[スマートフォンとペアリングする, 26 ページ](#)）。

- 1  > 天気を選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > 天気 > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

オンボードシステムの制御と監視

Vieo デバイスは、EmpirBus™ デジタルスイッチシステムまたは互換性がある別のデジタルスイッチシステムを使用して回路を監視／制御できます。

たとえば、RV の室内灯を制御できます。

デジタルスイッチコントロールを開く

ほとんどの設置環境では、デジタルスイッチモジュールは、コントローラエリアネットワーク(CAN)バスを使用して Vieo ドックに接続されます。また Vieo システムは、CAN 接続なしで Vieo ドックに接続する EmpirBus Connect 50Wi-Fi デジタルスイッチシステムもサポートしています。

注意: メイン画面からシステムコントロールを開くウィジェットがインストールに含まれている場合があります。

- ・ お使いのデバイスがコントローラエリアネットワーク(CAN)バスでモジュールに接続されている場合は、 >  > **RV コントロール**を選択します。
- ・ EmpirBus Connect 50 Wi-Fi デジタルスイッチシステムを使用している場合は、 >  > **EmpirBus** を選択します。

設定

ナビゲーション設定

 >  >  > ナビゲーションを選択します。

車両プロファイル: デバイスを使用する各車両の車両プロファイルを設定します。

地図／車両: 地図の詳細度と、デバイスに表示する車両アイコンを設定します。

ルートの環境設定: ナビゲーション時のルート探索の環境設定を設定します。

安全運転支援: 運転者支援警告を設定します。

トラフィック: デバイスで使用するトラフィックの詳細を設定します。アクティブルートで交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます ([ルート上の交通遅延を回避する, 12 ページ](#))。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

地図および車両設定

 >  >  > ナビゲーション > **地図／車両**の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする, 26 ページ](#))。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1  >  >  > ナビゲーション > 地図／車両 > マイマップを選択します。

2 地図を選択します。

[ルート探索の環境設定]の設定

 >  >  > ナビゲーション > ルートの環境設定の順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

有料道路: お使いのデバイスで北米の有料道路を経由するルートを回避できるようにします。

注意: この設定は北米でのみ利用できます。

通行料金: お使いのデバイスでヨーロッパの有料道路や有料ステッカーを必要とする道路を経由するルートを回避できるようにします。

注意: この設定はヨーロッパでのみ利用できます。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

走行履歴: デバイスで、myTrends、トリップの履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends、トリップの履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

運転者支援の設定

 >  >  > ナビゲーション > 安全運転支援の順に選択します。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

トラフィック設定

メインメニューで、 >  >  > ナビゲーション > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします（ルート上の交通遅延を回避する、12 ページ）。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

 >  >  > Bluetooth の順に選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

Vieo ディスプレイは、デフォルトでドックにワイヤレス接続されます。外部のワイヤレスネットワークに接続して、外部ネットワーク機能を使用したり、地図やソフトウェアの更新をダウンロードしたりできます ([Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新](#), 63 ページ)。

1  >  >  > Wi-Fi の順に選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスをドックに入れると、外部ネットワークから切断され、Vieo ドックに自動的に再接続されます。

ディスプレイ設定

 >  >  > ディスプレイを選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

自動輝度調整: デバイスがマウントから取り外されたときにバックライトの輝度を周辺光に応じて自動的に調整します。

テーマ: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

スリープ: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

Daydream: Daydream スクリーンセーバーを有効または無効にします。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

自動回転: デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

注意: ナビゲーションマップはランドスケープモードのみをサポートしています。

サウンドと通知の設定

 >  >  > サウンドと通知を選択します。

音量スライダ: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

その他のサウンド: 画面のタッチ、画面のロック、充電など、その他のデバイス操作音を有効または無効にすることができます。

デバイスがロックされている場合: デバイスがロックされているときに、通知を画面に表示するかどうかを設定します。

アプリ通知: インストールされている各アプリの通知を有効または無効にし、各アプリのサイレントモード設定を変更できます。

通知アクセス: システムおよびアプリ通知を読み取るためにアクセスできるアプリを選択できます。

サイレントモードへのアクセス: サイレントモード設定をオーバーライドまたは変更できるアプリを選択できます。

サウンドと通知の音量を調整する

1  >  >  > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。GPS 信号が利用できない場合は、位置情報サービスを無効にして、ルートを計画できます。位置情報サービスが無効なときは、GPS シミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

ヒント: 位置情報サービスを無効にすると、バッテリー電力を節約できます。

1  >  >  > 位置を選択します。

2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

注意: ほとんどの用途では、モード設定をデフォルトオプションのデバイスのみから変更しないでください。このデバイスには、ナビゲート時に最も正確な位置データを提供する高性能 GPS アンテナが組み込まれています。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1  >  > 言語／入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

 >  > 日付と時刻の順に選択します。

自動タイムゾーン: 接続されたネットワークからの情報に基づいてタイムゾーンを自動的に設定します。

タイムゾーンの選択: 自動タイムゾーンが無効になっている場合は、デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

 >  > デバイスについての順に選択します。

システムの更新: 地図とデバイスソフトウェアを更新できます。

ステータス: システムの状態とネットワーク情報を表示します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約(EULA)およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

規制情報: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1  >  >  を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 走行履歴を消去するには、ナビゲーション > ルートの環境設定 > 走行履歴の消去を選択します。
このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やアカウント、アプリ、インストール済みの地図は削除されません。
- ・ すべてのナビゲーション設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、ナビゲーション >  > リセットの順に選択します。
このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。
- ・ 保存されているすべてのワイヤレスネットワークとペアリング済みデバイスを削除するには、Backup & Reset > ネットワーク設定のリセットの順に選択します。
このオプションを選択しても他のユーザーデータは削除されません。
- ・ すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、Backup & Reset > 工場出荷時データの再設定の順に選択します。
このオプションを使用すると、走行履歴、アプリ、アカウント、設定、保存されたネットワーク、ペアリングされたデバイス、およびその他のすべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。Garmin フォルダ内のユーザーファイルは削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- デバイスについて > 規制情報を選択します。

仕様

仕様を表示	
動作温度範囲	-20~55°C (-4~131°F)
充電温度範囲	0~45°C (32~113°F)
無線周波数(Vieo RV 851/852)	2.4 GHz @ 14 dBm 最大
無線周波数(Vieo RV 1051/1052)	2.4 GHz @ 15 dBm 最大
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給(家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

ドックの仕様	
動作温度範囲	-10~55°C (14~131°F)
保管温度範囲	-20~70°C (-4~158°F)
入力電圧	DC 10.8~16 V
電流(最大)	15 A
電流(スタンバイモード)	5 mA 未満
ヒューズ	15 A ミニブレードタイプ
無線周波数／プロトコル	2.4 GHz @ 7.9 dBm 定格

オンボード、クラス D アンプ	
チャンネルごとの音楽出力	最大 4 x 70 W、2 Ω
合計出力ピークパワー	最大 280 W
チャネルごとの出力電力	4 x 43 W RMS(DC 14.4 V 入力時)、2 Ω、10% THD ³ 4 x 26 W RMS(DC 14.4 V 入力時)、4 Ω、10% THD ³
ライン出力レベル(最大)	5.5 V(ピークツーピーク)
AUX 入力レベル(標準)	1 V RMS

³ステレオは、アンプの過熱を防ぎ、オーディオダイナミクスを維持するために出力を制限することがあります。

チューニング	ヨーロッパおよびオーストラリア	USA	日本
FM ラジオ周波数範囲	87.5~108 MHz	87.5~107.9 MHz	76~95 MHz
FM 周波数ステップ	50 kHz	200 kHz	50 kHz
AM ラジオ周波数範囲	522~1620 kHz	530~1710 kHz	522~1620 kHz
AM 周波数ステップ	9 kHz	10 kHz	9 kHz

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問(FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

ディスプレイデバイスは、ディスプレイとステレオドックの両方のソフトウェア更新を同時にダウンロードします。ディスプレイをステレオドックから切離している間に更新すると、次回ステレオドックに接続したときに、ステレオドックソフトウェアを更新するように求めるメッセージが表示されます。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます(推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます garmin.com/express。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注意

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。更新を実行する場合、車両が安全な場所に駐車されており、デバイスに安定した電力が供給されることを確認してください。

1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (ワイヤレスネットワークに接続する、59 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です。**を選択します。
- アップデートを手動で確認するには、 >  > システムの更新の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**

3 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**地図**を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

4 使用許諾契約を読み、同意を選択して使用許諾契約に同意します。

注意: 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

5 車両が安全な場所に駐車されており、デバイスに安定した電力が供給されることを確認したら、**継続**を選択します。

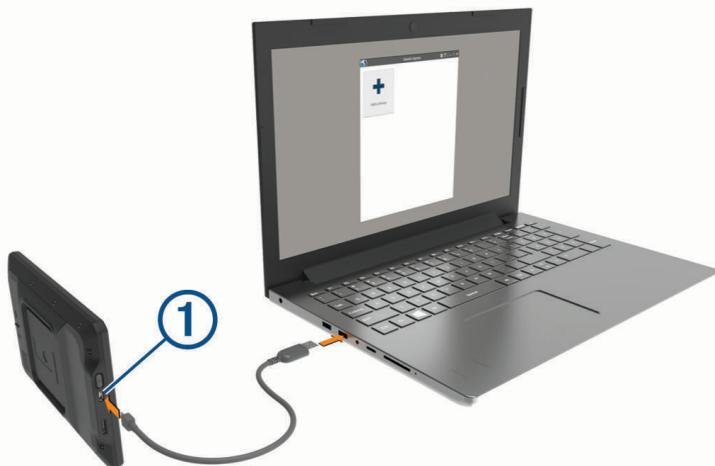
6 更新処理が完了するまで、デバイスを電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント: 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします ([Garmin Express による地図とソフトウェアの更新](#), 64 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 micro-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Vioo デバイスの micro-USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータの USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



6 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注意: 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります (地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 67 ページ)。

7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

デバイスのお手入れ

注意

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

タッチスクリーンのクリーニング

- 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 力を入れずに画面を布で拭きます。

トラブルシューティング

デバイスで衛星信号を受信できない

- 位置情報サービスが有効になっていることを確認します (位置情報サービスを有効または無効にする, 60 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- > > > Bluetooth の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m(33 ft.) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する, 30 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります (スマートフォンとペアリングする, 26 ページ)。

携帯電話が Bluetooth オーディオソースとして表示されない

Bluetooth オーディオソースには、スマートフォンとは別個の Bluetooth 接続が必要です。スマートフォンを Bluetooth メディアソースとして使用するには、音楽アプリで別々にペアリングする必要があります ([対応する Bluetooth デバイスを接続する](#), 37 ページ)。

ネットワークのトラブルシューティング

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスが表示されないか、または接続できない場合は、以下を確認してください。

- 1 台のデバイス(ステレオまたはルーター)のみが DHCP サーバーとして設定されていることを確認します。
- すべて Fusion PartyBus のデバイス、ネットワークスイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイントがネットワークに接続され、オンになっていることを確認します。
- ワイヤレス Fusion PartyBus デバイスがネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続されていることを確認します。
- 静的 IP アドレスを設定した場合は、すべてのデバイスが固有の IP アドレスを持っていること、IP アドレスの最初の 3 つの数字のセットが一致していること、および各デバイスのサブネットマスクが同一であることを確認します。
- ネットワークの問題の原因となる可能性がある設定変更を行った場合は、すべてのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

ネットワークステータスのアイコン

ステレオの一部の画面には、ネットワークステータスアイコンが表示されます。次の表を参照してアイコンの外観を把握し、Fusion PartyBus ネットワークの問題の診断に役立ててください ([ネットワークのトラブルシューティング](#), 66 ページ)。

	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されており、イーサネットケーブルを使用して有線ネットワークに正しく接続されています。
	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されていますが、有線ネットワークを検出できません。イーサネットケーブルが接続されていないか、ネットワークに他の問題がある可能性があります。
	ステレオがワイヤレスアクセスポイントとして設定されています。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されており、ワイヤレスアクセスポイントに接続されています。バーの数は信号強度を示します。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されていますが、ワイヤレスアクセスポイントに接続されていません。接続設定またはワイヤレスアクセスポイントに問題がある可能性があります。

ハンドル制御が反応しない、または正確でない場合

ハンドル制御の動作が一貫していない場合、再校正できる場合があります ([ハンドル制御の校正](#), 67 ページ)。

注意: ハンドル制御の校正オプションは、すべての車両で使用できるわけではありません。

ハンドル制御の校正

ハンドル制御の校正を開始する前に、Vieo システムと車両を平均走行温度まで暖機させる必要があります。

ハンドル制御を校正して、Vieo システムと一緒に動作させることができます。これは、一部の制御が反応しない、または不正確な場合に役立ちます。

注意: ハンドル制御の校正は、アナログ技術を使用する車両のシャシーに対してのみ行うことができます。

1 ディスプレイをステレオドックにセットします。

2 Vieo ディスプレイで、 >  >  車両統合 > ハンドル制御の順に選択します。

3 次のオプションを選択します:

- 車両制御の校正を開始するには、校正を選択します。
- 以前の校正を更新するには、再校正を選択します。
- 以前の校正を削除するには、校正の削除を選択します。

4 デバイスの画面上の指示に従って、校正処理を完了します。

注意: ハンドル制御の校正中にリセットを選択すると、現在のボタンの校正を再開できます。ハンドルにボタンがない場合は、スキップを選択して次のボタンの校正を開始できます。

付録

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注意: このデバイスは、Windows® 95、98、Me、Windows NT®、および Mac® OS 10.3 以下には対応していません。

メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア(www.garmin.com)を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリカードを使用して、地図、イメージ、ジオキヤッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~32 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります ([メモリーカードのフォーマット](#), 67 ページ)。

1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([ディスプレイの概観](#), 1 ページ)。

2 メモリカードをスロットに挿入します。

3 カチッと音がするまで押し込んでください。

メモリカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注意: メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

1  >  >  > ストレージと USB の順に選択します。

2 メモリーカードを選択します。

3  > 設定 > フォーマット > 消去してフォーマットの順に選択します。

4 完了を選択します。

追加の地図を購入する

- 1 [garmin.com](#) のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [マップ]タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

[garmin.com/accessories](#) にアクセスします。

support.garmin.com